

# 2021年度 資格取得 ガイドブック

受験料支援資格

経営系

情報処理系

メディア系

医療系

教養系

その他資格

医療系

教養系



学校法人 電子開発学園

北海道情報大学  
Hokkaido Information University

# はじめに

## 北海道情報大学 学習支援センター

大学は、かつてのようにモラトリアムを楽しむだけの機関では存続し得ない時代になりました。入学時の試験に勝ち抜けば出口（卒業時）での学力については問わないという時代は終わり、むしろ大学には出口保証すなわち実質的な能力の保証が問われています。日本の大学も本来のあるべき姿になりつつあるというべきでしょう。卒業に必要な単位を修得しただけで、入学から卒業までに伸ばした能力を、どのようにしたら認めてもらえるでしょう。

公にその能力を認めるものとして各種の資格や検定があり、社会に広く評価されているものが少なくありません。本学入学時には、多くの学生が資格の取得を目標に掲げています。在学中にその志を失うことなく、努力を継続して欲しいものです。資格取得を目指すことで大学生活が充実したものになり、資格を取得できれば、卒業時に該当する分野における能力の保証を得ることができます。

本学では、資格の取得を促すことは勿論、各種のコンテストを開催し、普段の授業で学んだことの応用・発展を通して、学生が主体的に実質的な能力を身につけることを期待しています。資格取得やコンテストというハードルを目指すことで、学習の動機付けがなされ、学習意欲が喚起され、学びの効果を高めることにつながります。

本学で取得に向けた講座を開講している資格、カリキュラム内に取得対策を盛り込んでいる資格など様々な資格がありますが、必ずしも本資格ガイドブックに掲載されたものすべてを十分にサポートしていません。個々の学生の努力、仲間との協力を活かして成功を引き寄せてください。もちろん、教職員はいつでもサポートをする準備はしています。

平成 21年度からは、本学で認定した一定レベル以上の資格について、合格の暁には大学で受験料を補助することにしています。是非このような仕組みを活かして、自分の能力向上の努力を重ねてください。本ガイドブックがそのための一助となれば幸いです。



# CONTENTS

p 1 ー はじめに

## 2020年度 受験料支援資格

### ● 経営系

- p 4 ー 日商簿記検定試験(2級・3級)
- p 6 ー リテールマーケティング(販売士)検定試験(2級・3級)
- p 7 ー G検定

### ● 情報処理系

- p 9 ー IT パスポート試験
- p11 ー 情報セキュリティマネジメント試験
- p13 ー 基本情報技術者試験
- p15 ー 応用情報技術者試験
- p17 ー 情報処理技術者試験(ネットワークスペシャリスト試験)
- p19 ー 情報処理技術者試験(データベーススペシャリスト試験)
- p21 ー 情報処理安全確保支援士試験
- p23 ー シスコ技術者認定 ネットワークアソシエイト

### ● メディア系

- p25 ー マルチメディア検定(エキスパート)
- p26 ー CG クリエイター検定(エキスパート)
- p27 ー Web デザイナー検定(エキスパート)
- p28 ー CG エンジニア検定(エキスパート)
- p29 ー 画像処理エンジニア検定(エキスパート)
- p30 ー 2次元CAD 利用技術者試験(2 級)

### ● 医療系

- p31 ー 診療情報管理士認定試験
- p33 ー 医師事務作業補助技能認定試験(ドクターズクラーク)
- p35 ー 医療情報技師能力検定試験
- p37 ー 診療報酬請求事務能力認定試験
- p39 ー 健康食品管理士認定試験
- p41 ー 第1種・第2種 ME 技術実力検定試験
- p45 ー 登録販売者試験
- p47 ー MDIC認定試験

### ● 教養系

- p49 ー 実用英語技能検定(1 級・準 1 級・2 級・準 2 級)
- p50 ー TOEIC® (スコア 500 点以上)
- p51 ー TOEFL® (スコア 60 以上)
- p52 ー ドイツ語技能検定試験(2 級・3 級・4 級)
- p53 ー 中国語検定試験(4 級)
- p55 ー 実用数学技能検定(1 級・準 1 級・2 級)
- p57 ー 実用フランス語技能検定試験(4 級以上)
- p59 ー 韓国語能力検定(2 級以上)
- p61 ー ロシア語能力検定試験(3 級・4 級)
- p62 ー 日本語検定(準 2 級以上)

## その他資格(受験料支援対象外資格)

### ● 医療系

- p63 ー 医療経営士
- p64 ー バイオインフォマティクス技術者認定試験

### ● 教養系

- p65 ー 日本漢字能力検定(1 級・準 1 級・2 級・準 2 級)

# 日商簿記検定試験（2級・3級）

主催団体：日本商工会議所

**試験実施時期** 例年、2月下旬、6月上旬、11月中旬の日曜日に実施(年3回)

**申込** 日商簿記2級・3級では、2020年12月から、ネット試験の導入が始まり受験しやすくなりました。ペーパー試験とネット試験のタイプがあります。  
江別商工会議所の2021年度におけるペーパー試験の日程は次の通りです。

## 2021年度簿記検定実施日

施行回数	実施日	申し込み期間
第158回	2021年 6月13日(日)	申し込み期間については希望受験地の商工会議所のホームページを確認してください
第159回	2021年11月21日(日)	
第160回	2022年 2月27日(日)	

※1 コロナウイルス感染症拡大にともない、日程等は変更される可能性があります。また、各級に定員が設けられ、申し込み期間内でも受付を締め切る可能性があります。

※2 ペーパー試験とネット試験のスタイルは、異なります。ペーパー試験の申し込み期間や方法は、商工会議所によって異なるので、希望受験地の商工会議所のホームページを確認しましょう。ネット試験のスケジュール、内容、及び実施場所については日本商工会議所の簿記のページ(<https://www.kentei.ne.jp/bookkeeping>)を確認してください。

**受験料** 1級 7,850円(税込) 2級 4,720円(税込) 3級 2,850円(税込)

**Webサイト** <https://www.kentei.ne.jp/bookkeeping/>

**試験会場** 全国各地(札幌近郊でも、札幌、江別、小樽、岩見沢、恵庭、千歳、石狩など)にて実施

## 内容

2級

「商業簿記」および「工業簿記」

「商業簿記」には株式会社社会計が、「工業簿記」には初歩的な原価計算が含まれます。

3級

「商業簿記」

「商業簿記」は、個人商店ないし小企業における商業簿記が範囲になります。

※各級とも、試験時間は2時間、70%以上で合格

## レベル

2級

株式会社における商業簿記および工業簿記(初歩的な原価計算を含む)を修得し、財務諸表を読む力がつき企業の経営状況を把握できること。

3級

財務担当者に必須の基本知識を身につけ、商店や中小企業の経理事務に役立つ。経理関係書類の読み取りができ、取引先企業の経営状況を数字から理解できること。

## 学習の心得

いずれの級においても、テキスト等を用いてひと通り出題範囲を学習し、その上で知識を定着させるために問題集(過去問)等を用いて、数多くの問題を解くことが大切です。

テキストや問題集は数多く市販されているので、実際に書店で手にとり自分に合いそうなものを選ぶのがよいでしょう。その際、多くのテキスト・問題集を購入するよりも自分に合った1、2冊を繰り返し学習したほうが効果的です。なお、迷った人には、『合格トレーニング日商簿記2級』、『合格トレーニング日商簿記3級』(TAC出版)を薦めます。

## 本学での対応科目・講座

**2級** **3級** 「簿記原理システム論Ⅰ・Ⅱ」(経営情報学部、1年次科目)

※大学の講義は、上記いずれの科目も資格取得を主目的として開講しているわけではありません。

そのため、各自の追加的な学習が必要です。

勉強方法など相談したいことがあれば231研究室(松本)へ来て下さい。

## 全体の合格率・合格者数

級	実施回	受験者数	合格者数	合格率
2級	156(2020.11.15)	39,830	7,255	18.2%
	154(2020. 2.23)	46,939	13,409	28.6%
	153(2019.11.17)	48,744	13,195	27.1%
3級	156(2020.11.15)	64,655	30,654	47.4%
	154(2020. 2.23)	76,896	37,744	49.1%
	153(2019.11.17)	80,130	34,519	43.1%

※155回日商簿記検定は中止となりました。

# リテールマーケティング（販売士）検定試験（2級・3級）

主催団体：日本商工会議所

**試験日** リテールマーケティング検定は2021年度より1級～3級すべてが「ネット試験方式」で随時施行することになりました。試験概要等の詳細については、各地施行商工会議所のホームページでご確認ください。

**受験料** 1級 7,850円 2級 5,770円 3級 4,200円

**Webサイト** <http://www.kentei.ne.jp/retailsales/>

**試験会場** 各地施行商工会議所へ問い合わせること

## 内容

5科目とも100点を満点とし、

**(1)全科目の平均点が70点以上 (2)50点未満の科目がないこと**

以上2つの条件を満たした場合に合格となります。

出題は、マークシート方式による選択問題で、試験時間は3級100分、2級は(1)と(2)合計で60分、(3)～(5)で90分です。

**(1) 小売業の類型 (2) マーチャンダイジング (3) ストアオペレーション  
(4) マーケティング (5) 販売・経営管理**

## レベル

**2級**

マーケティング、マーチャンダイジングをはじめとする流通・小売業における高度な専門知識を身に着けている。

販売促進の企画・実行をリードし、店舗・売り場を包括的にマネジメントする人材を目指す。幹部・管理職への昇進条件として活用しているところもある。

**3級**

マーケティングの基本的な考え方や流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解している。

接客や売り場作りなど、販売担当として必要な知識・技能を身につけた人材を目指す。

流通・小売業に限らず、BtoCの観点から社員教育に取り入れている卸売業や製造業もある。

## 学習の心得

公式テキストや過去問題集が発売されているので使用することを薦めます。

## 本学での対応科目・講座

現在は開講の予定がないが、希望者が多ければ開講。

## 全体の合格率・合格者数

全国3級合格率：83回(2/20) 68.9% , 84回(7/13) 67.5% , 85回(2020/2/19) 54.7%

全国2級合格率：83回(2/20) 68.7% , 84回(7/13) 60.3% , 85回(2020/2/19) 60.6%

- 試験日** 2021年3月20日(土)  
2021年7月17日(土)  
2021年11月6日(土)
- 申込** 以下のWebサイトから個人アカウントを取得して、申し込みします。  
<https://www.jdla-exam.org/d/>
- 受験料** 5,500円(学生・税込)
- Webサイト** <https://www.jdla.org/certificate/general/>
- 試験会場** オンライン実施(インターネット環境があれば自宅で受験できます。)

## 内 容

試験時間:120分  
知識問題(多肢選択式・220問程度)

### 試験範囲

- ◆人工知能をめぐる動向  
探索・推論、知識表現、機械学習、深層学習
- ◆人工知能分野の問題  
トイプロブレム、フレーム問題、弱いAI、強いAI、身体性、シンボルグラウンディング問題、特徴量設計、チューリングテスト、シンギュラリティ
- ◆機械学習の具体的な手法  
代表的な手法、データの扱い、応用
- ◆ディープラーニングの概要  
ニューラルネットワークとディープラーニング、既存のニューラルネットワークにおける問題、ディープラーニングにおける問題、ディープラーニングのアプローチ、CPUとGPU、ディープラーニングにおけるデータ量
- ◆ディープラーニングの手法  
活性化関数、学習率の最適化、更なるテクニック、CNN、RNN、深層強化学習、深層生成モデル
- ◆ディープラーニングの研究分野  
画像認識、自然言語処理、音声処理、ロボティクス(強化学習)、マルチモーダル
- ◆ディープラーニングの応用に向けて  
産業への応用、法律、倫理、現行の議論

- レベル** ディープラーニングの基礎知識を有し、適切な活用方針を決定して、事業活用する能力や知識を有しているかを検定するものです。G検定のGIはジェネラリストを意味します。技術者向けのスキルを検定するものではありませんから、学生だけでなく、幅広い社会人が受験しています。



## 本学での対応科目・講座

情報システム学概論 I, II (明神先生)

## 全体の合格率・合格者数

開催回	申込者	受験者数	合格者数	合格率
2017	1,500	1,448	823	56.84%
2018#1	2,047	1,988	1,136	57.14%
2018#2	2,745	2,680	1,740	64.93%
2019#1	3,541	3,436	2,500	72.76%
2019#2	5,387	5,143	3,672	71.40%
2019#3	6,786	6,580	4,652	70.70%
2020#1	6,515	6,298	4,198	66.66%
2020#2	13,528	12,552	8,656	68.96%
2020#3	7,651	7,250	4,318	59.56%
累計	49,700	47,375	3,1695	—

# ITパスポート試験

主催団体：独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）

**試験実施時期** CBT試験であるため、随時実施

**申込** 試験の申し込みを行うには、以下のWebサイトで、利用者ID登録を行います。  
<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>  
利用者ID登録が完了すると、Webサイトで受験申込することができるようになります。  
希望する受験会場を選び、受験できる日程を選んで登録します。

**受験料** 5,700円

**Webサイト** <https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

**試験会場** 全国各地 札幌圏でも複数個所で実施

## 内容

職業人として情報機器及びシステムの把握や、担当業務の遂行及び情報化を推進するために、基礎的な知識が試験されます。

対象とされる内容はストラテジ系、マネジメント系、テクノロジー系の3つに分類されます。概ね、ストラテジ系（35%）、マネジメント系（20%）、テクノロジー系（45%）の比率で出題されます。

**(1) ストラテジ系：**

情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念などの知識

**(2) マネジメント系：**

システム開発やプロジェクトマネジメントのプロセスに関する基礎的な用語・概念などの知識

**(3) テクノロジー系：**

情報の基礎理論、コンピュータシステムやネットワークに関する知識、  
オフィスツールの活用など幅広く網羅

令和2年4月実施分より、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム」への対応、及びデジタルトランスフォーメーション(DX)に関する技術動向や環境変化への対応が追加されます。

合格基準は、3分野それぞれ30%以上をクリアし、かつ3分野の総合得点が60%以上に達した場合に合格となります。

**レベル** 情報処理国家試験のなかでは、最も基本的な試験(レベル1と呼ばれる)です。本学の情報系科目を2年間学ぶと、この試験のかなりの範囲を網羅することになります。

**学習の心得** 試験には独特の傾向があり、過去の問題に十分取り組んでおかなければ容易には合格できません。情報処理分野のみならず、広く経営系(ストラテジ系)の知識も必要になるので、経営系の科目を履修することが生きてきます。

### 本学での対応科目・講座

情報系のほとんどの科目がこの資格試験の範囲に含まれるが、特に基礎となる科目は以下のとおりです。

**経営情報学部**：コンピュータシステムⅠ、コンピュータシステムⅡ

**医療情報学部**：コンピュータシステムⅠ、コンピュータシステムⅡ

**情報メディア学部**：コンピュータ、情報メディア特別演習

### 全体の合格率・合格者数

#### 全国での合格率

令和2年度 : 59.9%  
令和元年度 : 54.3%  
平成30年度 : 51.7%  
平成29年度 : 50.4%

平成23年11月より、CBT方式による試験となりましたので、大学を通しての申込を行っていません。

平成23年秋 : 61.2%  
平成23年特別 : 44.8%

過去、本学を通して申込をした学生のうち合格者数は以下のとおりです。  
平成23年度秋 6名(3年2名、2年4名) 合格率 37.5%  
平成23年度特別 2名(4年2名、3年1名) 合格率 22.2%

### CBT試験について

- 試験会場では、パソコンを通して問題が出題され、パソコンで解答します
- パソコンを利用する試験であるため、1回の試験での受験者が限定されます(20名程度)
- 受験後、速やかに成績と可否を確認することができます
- 毎月定期的に試験が実施されるため、都合のよい日程を選んで受験できます
- 受験日3日前であれば、受験申込したWebサイトで試験日を延期変更することができます

# 情報セキュリティマネジメント試験

主催団体：独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）

**試験実施時期** 令和2年度よりCBT試験にて上期・下期の一定期間実施

**申 込** 令和2年度はプロメトリック社サイトより直接申込み。  
令和3年度上期以降の申込み方法は未定です。  
詳しくは下記Webサイトを確認してください。  
[https://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_11seido/cbt\\_sg\\_fe.html](https://www.jitec.ipa.go.jp/1_11seido/cbt_sg_fe.html)

**受 験 料** 5,700円

**Webサイト** <http://www.jitec.ipa.go.jp/sg/>

**試験会場** 全国各地 札幌圏内でも複数箇所で開催

## 内 容

情報セキュリティマネジメントの計画・運用・評価・改善を通して、情報セキュリティの脅威から組織を守るためのケーススタディによる出題を通して情報セキュリティ管理の実践力が問われます。基本的なスキルが試されます。平成28年度から試験が開始されました。情報セキュリティに関する重点分野と、テクノロジー・マネジメント・ストラテジの関連分野から出題されます。

午後問題は、90分で3問を解答する（多肢選択式）。  
午前と午後の両方共に60%以上の得点で合格となります。

**レ ベ ル** ITスキルレベル(ITSS)共通キャリア・スキルフレームワーク(CCSF)レベル2相当  
ITパスポート試験をステップアップしたものとなります。

## 本学での対応科目・講座

セキュリティ関連の科目が基礎となりますが、情報系の殆どの科目が関連します。

## 全体の合格率・合格者数

### 全国での合格率

令和元年度 秋：47.0%  
平成31年度 春：51.9%  
平成30年度 秋：46.3%  
平成30年度 春：53.7%  
平成29年度 秋：50.4%  
平成29年度 春：66.4%  
平成28年度 秋：70.3%  
平成28年度 春：88.0%

本学の合格者数は不明です。



# 基本情報技術者試験

主催団体：独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）

**試験実施時期** 令和2年度よりCBT試験にて上期・下期の一定期間実施

**申 込** 令和2年度はプロメトリック社サイトより直接申込み。  
令和3年度上期以降の申込み方法は未定です。  
詳しくは下記Webサイトを確認してください。  
[https://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_11seido/cbt\\_sg\\_fe.html](https://www.jitec.ipa.go.jp/1_11seido/cbt_sg_fe.html)

**受 験 料** 5,700円

**Webサイト** <http://www.jitec.ipa.go.jp/>

**試験会場** 全国各地 札幌圏でも複数箇所で開催

## 内 容

情報技術全般に関する基礎的な知識を活用し、情報システム開発においてプログラムの設計・開発を行うとともに、将来高度な技術者をを目指す者としての知識・技能が要求されます。内容は以下のように、多岐にわたっています。範囲はITパスポート試験と同じですが、少しレベルが高くなります。

- 1 コンピュータシステムに関すること
  - ① ハードウェア・ソフトウェア
  - ② データベース
  - ③ ネットワーク
- 2 情報セキュリティに関すること
- 3 データ構造及びアルゴリズムに関すること
- 4 ソフトウェア設計に関すること
- 5 ソフトウェア開発に関すること
- 6 マネジメントに関すること
  - ① プロジェクトマネジメント
  - ② サービスマネジメント
- 7 ストラテジに関すること
  - ① システム戦略
  - ② 経営戦略・企業と法務

午前問題は、150分で80問（多肢選択式・四肢択一）。

午後問題は、150分で11問中5問を解答する（多肢選択式）。

ただし、「情報セキュリティ」と「データ構造及びアルゴリズム」は必須で、それぞれ1問ずつ解答する。

午前と午後の両方共に60%以上の得点で合格となります。

なお、2020年度試験より、午前問題で理数系の配分が多くなり、午後問題でCOBOLの廃止、Pythonの追加、出題構成の変更が行われます。

## レベル

本学の情報系科目を2年間学ぶと、この試験のかなりの範囲を網羅することになります。しかし、合格はそれほど易しいものではありません。それだけに、ソフトウェア関連企業で評価されている資格です。ITパスポート試験はIT人材像レベル1に該当し、この基本情報技術者試験はレベル2に対応しています。

## 学習の心得

試験には独特の傾向があり、過去の問題に十分取り組んでおかなければ容易には合格できません。知識を中心に試験をする午前問題と、応用技術を試験する午後問題。それぞれには得意不得意があると思いますので、不得意の方も伸ばす努力が必要です。

## 本学での対応科目・講座

情報系のほとんどの科目がこの資格試験の範囲に含まれるが、特に基礎となる科目は以下のとおりです。

**経営情報学部：コンピュータシステムⅠ、コンピュータシステムⅡ**

**医療情報学部：コンピュータシステムⅠ、コンピュータシステムⅡ**

**情報メディア学部：コンピュータ**

本学では、「午前試験免除eラーニング対策講座」を実施しています。

本講座は、JOHO-BOXを利用し、午前免除修了試験の合格を目指すものです。午前免除修了試験に合格すれば、本試験において1年間、午前試験は免除になります。修了試験合格後は午後試験の勉強に集中できるため試験を有利に進めることができます。

なお、午前免除修了試験を受験するためには、以下の条件をクリアする必要があります。

- ・JOHO-BOXの回答率 100%
- ・JOHO-BOXの正答率 70%
- ・JOHO-BOXでの学習累計時間 100時間以上

(※対策講座についての詳細は後日、ガイダンス等でご確認してください。)

午後試験に向けた講座は、昨年度は以下のように実施しました。

**秋期試験向け講座 10月 放課後2時間×4回**

## 全体の合格率・合格者数

全国での合格率 : 過去3年間について、本学を通して申込をした学生のうち合格者数は以下のとおりです。

令和元年秋 : 28.5%	令和元年度秋 2名(3年1名、2年1名)	合格率 6.1%
平成31年春 : 22.2%	平成31年度春 2名(2年2名)	合格率 6.1%
平成30年秋 : 22.9%	平成30年度秋 6名(4年1名、3年3名、1年2名)	合格率 9.4%
平成30年春 : 28.9%	平成30年度春 1名(3年1名)	合格率 3.6%
平成29年秋 : 21.8%	平成29年度秋 2名(3年1名、2年1名)	合格率 3.7%
平成29年春 : 22.5%	平成29年度春 4名(4年1名、3年3名)	合格率 8.3%

# 応用情報技術者試験

主催団体：独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）

- 試験実施時期** 4月第3日曜日および10月第3日曜日
- 申込** 令和3年度よりインターネット申込みに変更となりました。詳しくは下記Webサイトを確認してください。  
[https://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_02annai/r03haru\\_exam.html](https://www.jitec.ipa.go.jp/1_02annai/r03haru_exam.html)
- 受験料** 5,700円
- Webサイト** <http://www.jitec.ipa.go.jp/>
- 試験会場** 全国各地 札幌圏でも複数箇所を実施

## 内 容

基本戦略立案又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、独力で次のいずれかの役割を果たすことができる能力を試験します。

1. 企業経営や社会システムが直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略を立案する
2. 信頼性・生産性の高いシステムを構築し、その安定的な運用サービスを実現する

対象とされる内容は以下のように、多岐にわたっています。範囲はITパスポート試験や基本情報技術者試験と同じですが、レベルが高くなり、IT人材像のレベル3に相当します。

- 1 経営戦略に関すること
- 2 情報戦略に関すること
- 3 戦略立案・コンサルティングの技法に関すること
- 4 システムアーキテクチャに関すること
- 5 サービスマネジメントに関すること
- 6 プロジェクトマネジメントに関すること
- 7 ネットワークに関すること
- 8 データベースに関すること
- 9 組込みシステム開発に関すること
- 10 情報システム開発に関すること
- 11 プログラミングに関すること
- 12 情報セキュリティに関すること
- 13 システム監査に関すること

午前問題は、150分で80問（多肢選択式・四肢択一）。

午後問題は、150分で11問中5問を解答する（記述式）。ただし、「情報セキュリティ」は必須で1問解答する。

午前、午後共に60%以上の得点で合格となります。



## レベル

本学の情報系の科目を3年間学ぶと、午前問題のかなりの範囲を網羅することになります。基本情報技術者試験に比べて、各分野をさらに深く理解し身につけていることが要求されます。

基本情報技術者試験はIT人材像レベル2に該当し、この応用情報技術者試験はレベル3に対応しています。

## 学習の心得

試験には独特の傾向があり、過去の問題に十分取り組んでおかなければ容易には合格できません。午前試験は基本情報試験を少し難しくした問題になります。計算機科学の分野が基本情報技術より多くなります。

午後試験には、データベース、ネットワーク、アルゴリズム、セキュリティはよく出題されています。ほかに、システム分析、システム設計あるいはアルゴリズムなどの高い技術が要求されます。

## 本学での対応科目・講座

情報系のほとんどの科目が試験の範囲に含まれるが、特にこの資格取得を目的の一つにしている科目はありません。

## 全体の合格率・合格者数

全国での合格率	過去3年間について、本学を通して申込をした学生のうち合格者数は以下のとおりです。
令和2年度10月：23.5%	令和2年度10月 0名
令和元年度秋：23.0%	令和元年度秋 1名
平成31年度春：21.5%	平成31年度春 0名
平成30年度秋：23.4%	平成30年度秋 0名
平成30年度春：22.7%	平成30年度春 1名(4年1名) 合格率 33.3%
平成29年度秋：21.8%	平成29年度秋 0名

# 情報処理技術者試験

主催団体：独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）

## ネットワークスペシャリスト試験

試験実施時期	4月第3日曜日
申 込	令和3年度よりインターネット申込みに変更となりました。詳しくは下記Webサイトを確認してください。 <a href="https://www.jitec.ipa.go.jp/1_02annai/r03haru_exam.html">https://www.jitec.ipa.go.jp/1_02annai/r03haru_exam.html</a>
受 験 料	5,700円
Webサイト	<a href="http://www.jitec.ipa.go.jp/">http://www.jitec.ipa.go.jp/</a>
試験会場	全国各地 札幌圏でも複数箇所を実施

### 内 容

高度IT人材として確立した専門分野をもち、ネットワークに関する固有技術を活用し、最適な情報システム基盤の企画・要件定義・開発・運用・保守において中心的な役割を果たすとともに、固有技術の専門家として、情報システムの企画・要件定義・開発・運用・保守への技術支援を行うものを対象とした試験です。

ネットワークシステムを企画・要件定義・設計・構築・運用・保守する業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導します。

- ① ネットワーク管理者として、ネットワークサービス活用を含む情報システム基盤のネットワーク資源を管理する。
- ② ネットワークシステムに対する要求を分析し、効率性・信頼性・安全性を考慮した企画・要件定義・設計・構築・運用・保守を行う。
- ③ 情報セキュリティ含む情報システムの企画・要件定義・開発・運用・保守において、ネットワーク関連の技術支援を行う。

目的に適合したネットワークシステムを構築・維持するため、次の知識・実践能力が要求されます。

- ① ネットワーク技術・ネットワークサービスの動向を広く見通し、目的に応じた適用可能な技術・サービスを選択できる。
- ② 企業・組織、または業務システムの要求（情報セキュリティを含む）を的確に理解し、ネットワークシステムの要求仕様を作成できる。
- ③ 要求仕様に関連するモデリングなどの設計技法、プロトコル技術、信頼性設計、セキュリティ技術、ネットワークサービス、コストなどを評価して、最適な論理設計・物理設計ができる。
- ④ ネットワーク関連企業を活用して、ネットワークシステムの設計・構築・運用・保守ができる。

午前Ⅰは、50分で多肢選択式（四肢択一）問題30問（30問を解答）

午前Ⅱは、40分で多肢選択式（四肢択一）問題25問（25問を解答）

午後Ⅰは、90分で記述式問題3問（2問を解答）

午後Ⅱは、120分で記述式問題2問（1問を解答）

## レベル

この試験は、経済産業省が定めているITスキル標準(ITSS)の共通キャリア・スキルフレームワークのテクニカルスペシャリストのレベル4の前提条件となっています。共通キャリア・フレームワークのレベル3に対応する応用情報技術者試験に合格あるいは合格できる知識・スキルを身に付けて、さらにネットワーク関連技術に関する知識・スキルを身に付けていることを要求されるので、本学では大学院レベルの試験といえます。

## 学習の心得

午前問題は、応用情報技術者試験の午前にネットワークの高度な知識を問う問題が追加された内容になっています。多くのネットワークスペシャリストの参考書が出ていますので、1冊は手元に置いて、理解できるまで何度も復習することが必要です。午後の問題がⅠとⅡの二つからなり、どちらも過去問題を自力で7～8割程度とけるようにしておくことが大事です。理解できない内容は、他の参考書などを勉強することも必要になります。

## 本学での対応科目・講座

基礎知識に関しては、ネットワークやセキュリティ関連の科目が対応しますが、特に午後問題は、より専門的になるため独自に学ぶ必要があります。大学院のネットワークプログラムの科目は、専門的な知識の一部に対応しています。

## 全体の合格率・合格者数

令和2年度：実施はありませんでした。  
令和元年度：14.4%(1,707名)  
平成30年度：15.4%(1,893名)  
平成29年度：13.6%(1,736名)  
平成28年度：15.4%(1,840名)  
平成27年度：14.6%(1,811名)  
平成26年度：13.9%(1,832名)  
平成25年度：14.3%(1,899名)  
本学の合格者は不明です。

# 情報処理技術者試験

主催団体：独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）

## データベーススペシャリスト試験

試験実施時期	10月第3日曜日
申 込	令和3年度よりインターネット申込みに変更となりました。詳しくは下記Webサイトを確認してください。 <a href="https://www.jitec.ipa.go.jp/1_02annai/r03haru_exam.html">https://www.jitec.ipa.go.jp/1_02annai/r03haru_exam.html</a>
受 験 料	5,700円
Webサイト	<a href="http://www.jitec.ipa.go.jp/">http://www.jitec.ipa.go.jp/</a>
試験会場	全国各地 札幌圏でも複数箇所を実施

### 内 容

高度IT人材として確立した専門分野をもち、データベースに関する固有技術を活用し、最適な情報システム基盤の企画・要件定義・開発・運用・保守において中心的な役割を果たすとともに、固有技術の専門家として、情報システムの企画・要件定義・開発・運用・保守への技術支援を行うものを対象とした試験です。

データ資源およびデータベースを企画・要件定義・開発・運用・保守する業務に従事し、次の役割を主導的に果たすとともに、下位者を指導します。

- ① データ管理者として、情報システム全体のデータ資源を管理する。
- ② データベースシステムに対する要求を分析し、効率性・信頼性・安全性を考慮した企画・要件定義・開発・運用・保守を行う。
- ③ 個別システム開発の企画・要件定義・開発・運用・保守において、データベース関連の技術支援を行う。

高品質なデータベースを企画・要件定義・開発・運用・保守するため、次の知識・実践能力が要求されます。

- ① データベース技術の動向を広く見通し、目的に応じて適用可能な技術を選択できる。
- ② データ資源管理の目的と技法を理解し、データ部品の標準化、リポジトリシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守ができる。
- ③ データモデリング技法を理解し、利用者の要求に基づいてデータ分析を行い、正確な概念データモデルを作成できる。
- ④ データベース管理システムの特性を理解し、情報セキュリティも考慮し、高品質なデータベースの企画・要件定義・開発・運用・保守ができる。

午前Ⅰは、50分で多肢選択式(四択一)問題30問(30問を解答)

午前Ⅱは、40分で多肢選択式(四択一)問題25問(25問を解答)

午後Ⅰは、90分で記述式問題3問(2問を解答)

午後Ⅱは、120分で記述式問題2問(1問を解答)

**レベル** この試験は、経済産業省が定めているITスキル標準(ITSS)の共通キャリア・スキルフレームワークのテクニカルスペシャリストのレベル4の前提条件となっています。共通キャリア・フレームワークのレベル3に対応する応用情報技術者試験に合格あるいは合格できる知識・スキルを身に付けて、さらにデータベース関連技術に関する知識・スキルを身に付けていることを要求されるので、本学では大学院レベルの試験といえます。

**学習の心得** 午前問題は、応用情報技術者試験の午前にデータベースの高度な知識を問う問題が追加された内容になっています。多くのデータベーススペシャリストの参考書が出ていますので、1冊は手元に置いて、理解できるまで何度も復習することが必要です。午後の問題がⅠとⅡの二つからなり、どちらも過去問題を自力で7～8割程度とけるようにしておくことが大事です。理解できない内容は、他の参考書などを勉強することも必要になります。

### 本学での対応科目・講座

基礎知識に関しては、情報システムやデータベース関連の科目が対応しますが、特に午後の問題は、より専門的になるため独自に学ぶ必要があります。

### 全体の合格率・合格者数

令和2年度 : 15.8%(1,031名)  
平成31年度 : 14.4%(1,591名)  
平成30年度 : 13.9%(1,548名)  
平成29年度 : 14.5%(1,709名)  
平成28年度 : 17.5%(1,620名)  
平成27年度 : 17.6%(1,767名)  
平成26年度 : 16.7%(1,671名)  
平成25年度 : 16.3%(1,845名)  
本学の合格者は不明です。

# 情報処理安全確保支援士試験

主催団体：独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）

**試験実施時期** 4月第3日曜日および10月第3日曜日

**申込** 令和3年度よりインターネット申込みに変更となりました。詳しくは下記Webサイトを確認してください。  
[https://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_02annai/r03haru\\_exam.html](https://www.jitec.ipa.go.jp/1_02annai/r03haru_exam.html)

**受験料** 5,700円

**Webサイト** <http://www.jitec.ipa.go.jp/>

**試験会場** 全国各地 札幌圏内でも複数箇所で開催

## 内 容

サイバーセキュリティに関する専門的な知識・技能を活用して企業や組織における安全な情報システムの企画・設計・開発・運用を支援し、また、サイバーセキュリティ対策の調査・分析・評価を行い、その結果に基づき必要な指導・助言を行う者を、「情報処理安全確保支援士」として国家資格による登録が始まりました。

この試験はこの国家資格の認定に必要となり、従来の「情報処理スペシャリスト試験」が情報処理技術者試験から独立して実施されるものです。

午前Ⅰ問題は、50分で30問（多肢選択式・四肢選択、高度試験共通問題）。

午前Ⅱ問題は、40分で25問（多肢選択式・四肢選択）。

午後Ⅰ問題は、90分で3問中2問解答（記述式）。

午後Ⅱ問題は、120分で2問中1問解答（記述式）。

いずれも60%以上の得点で合格となります。

**レベル** ITスキルレベル(ITSS)共通キャリア・スキルフレームワーク(CCSF)レベル4相当  
従来の情報処理技術者試験「情報処理セキュリティスペシャリスト試験」が国家資格化したものです。

## 本学での対応科目・講座

セキュリティ関連の科目が基礎となりますが、情報系の殆どの科目が関連します。

## 全体の合格率・合格者数

令和2年10月：19.4%（2,253名）  
令和元年秋：19.4%（2,703名）  
平成31年春：18.9%（2,744名）  
平成30年秋：18.5%（2,818名）  
平成30年春：16.9%（2,596名）  
平成29年秋：17.1%（2,767名）  
平成29年春：16.3%（2,822名）



# シスコ技術者認定 ネットワークアソシエイト

主催団体 : シスコシステムズ合同会社

- 試験実施時期** CBT試験であるため、随時実施
- 申 込** 下記シスコのサイトより申込み（200-301 CCNA）
- 受 験 料** 33,600円(税抜)
- Webサイト** [http://www.cisco.com/c/ja\\_jp/training-events/training-certifications/certifications/associate/ccna.html](http://www.cisco.com/c/ja_jp/training-events/training-certifications/certifications/associate/ccna.html)
- 試験会場** ピアソンVUEの試験会場またはオンライン試験

## 内 容

シスコ技術者認定ネットワークアソシエイト(CCNA: Cisco Certified Network Associate)は、ネットワーク機器最大手のシスコ社が認定したネットワーク運用に関する資格です。CCNAに認定されると、WANでのリモートサイト接続の実装と確認を含め、中規模ネットワークの導入、設定、運用、およびトラブルシューティングを行う能力を備えていることが証明されます。

試験時間は120分です。試験で使用されている出題方式は、選択問題と入力問題が中心ですが、シスコルータのシミュレータに対して実際に設定を行うシミュレーション問題なども出題されており、事前に練習問題や過去問題などで傾向を把握しておく必要があります。

認定有効期間は3年となっており、3年ごとに新しい試験での再受験が必要です。

旧CCNA Routing and Switchingは、2020年より新しいCCNA試験として実施されます。詳細はシスコwebページで確認してください。



## レベル

6段階で構成されるシスコ技術者認定の2段階目に該当し、研修レベルまたは基本レベルとされていますが、それほど簡単ではありません。多くの学生にとっては、本学の情報系科目を受講するだけでは合格は難しく、資格用の対策が必要となります。シスコ製のルータやスイッチなどの操作技術や管理技術を満たしている事の認証を目的としたベンダー資格ですが、シスコ製ネットワーク機器は世界のトップシェアであること、ネットワーク機器の操作や管理のためには基本的なネットワークの知識も必要であること、そして、世界共通の資格であることから、ネットワークの現場で働く技術者や管理者にとっては有名な資格試験です。

## 学習の心得

シスコ製のルータやスイッチの使用方法を理解することも必要ですが、ネットワークの基礎知識、ネットワークに関するハードウェアの知識も問われます。大きく分類して以下の範囲を含んでいます。詳細はシスコWebページで確認してください。

- ネットワークの基礎
- ネットワークアクセス
- IPコネクティビティ
- IPサービス
- セキュリティの基礎
- 自動化とプログラマビリティ

## 本学での対応科目・講座

本学で完全に対応している科目は以下のとおりです。

**経営情報学部：ネットワークの構成と管理**

以下の科目は参考になります。

**経営情報学部：システム開発基礎Ⅱ、ネットワークとセキュリティⅠ、  
ネットワークとセキュリティⅡ**

**情報メディア学部：インターネットの仕組み、インターネットセキュリティの技術**

## マルチメディア検定 エキスパート

主催団体 : CG-ARTS協会

試験日 予定 前期:7月 後期:11月 (2021年3月に公開予定)

申込 予定 前期:4月~6月 後期:9月~10月

受験料 エキスパート 6,700円 (ベーシック 5,600円 : 支援対象外)

Webサイト <http://www.cgarts.or.jp/kentei/about/multimedia/index.html>

試験会場 20都道府県で実施。札幌にも試験会場あり

## 内 容

コンピュータや周辺機器、インターネットを活用し、デジタルコンテンツ、携帯端末、知的財産権・マルチメディアの社会応用などに関する幅広い知識を測ります。

## エキスパート

マルチメディアを用いたネットワーク技術・コミュニケーション技術・プレゼンテーション技術についての専門的な理解と、Webサイトやシステム、製品開発のビジネスに知識を応用する能力を測ります。

## ベーシック

マルチメディアの扱い方とインターネットを用いたコミュニケーション技術に関する基礎的な理解と、多様な生活の場面で知識を利用する能力を測ります。

エキスパート、ベーシックとも選択式

レベル 本学学生でも十分取得可能なレベルです。

ベーシックはデジタルコミュニケーションに関する基礎的な用語を理解できていなければなりません。エキスパートは、マルチメディアについての全般的な知識を、コンテンツ制作やWebサイト構築などに活用することができる知識が要求されます。

学習の心得 インターネットの利用やサービス、メディア機器など日常生活を取り巻くITに目を向け、理解をしておく必要があります。また、ホームページには過去の問題サンプルもあるので取り組んでおくと良いでしょう。専門のテキストで勉強することも大切です。

## 本学での対応科目・講座

ICT入門、webプログラミング演習、メディア技術演習、コンピュータ、3DCG演習、映画基礎演習、ビジュアル構成演習、IoT時代のセキュリティ、インターネットの仕組み、画像情報処理演習、音声情報処理など、情報メディア学科で学ぶ広い範囲の知識が必要となります。

## 全体の合格率・合格者数

マルチメディア検定エキスパートの合格率

2020(後):20.9%、2020(前):中止、2019(後):22.1%、2019(前):25.0%、  
2018(後):30.4%、2018(前):22.9%、2017(後):35.0%、2017(前):22.6%

主催団体 : CG-ARTS協会

試験日 予定 前期:7月 後期:11月 (2021年3月に公開予定)

申込 予定 前期:4月~6月 後期:9月~10月

受験料 エキスパート 6,700円 (ベーシック 5,600円:支援対象外)

Webサイト <http://www.cgarts.or.jp/kentei/about/multimedia/index.html>

試験会場 20都道府県で実施。札幌にも試験会場あり

## 内 容

映画・アニメーション・ゲーム・CMなどのCG映像の制作において、一定条件(シナリオ・絵コンテ・日程・予算など)をもとに、映像表現技術やCG理論の知識、CGソフトウェアを効果的に用いる能力が求められます。

エキスパート

3次元CGと映像制作に関する専門的な理解と、3次元CG映像の制作に知識を応用する能力を測ります。

ベーシック

2次元CGと3次元CG、デザインに関する基礎的な理解と、CGの静止面制作に知識を利用する能力を測ります。

エキスパート、ベーシックとも選択式

**レベル** ベーシックは本学学生でも取得可能なレベルです。ただし、講義を受講するだけでは合格は難しく、実際に3DCGなどの映像コンテンツを制作するなどの実践的な経験を積んでおくことが望ましいです。エキスパートは難易度が上がり、実務経験がないと難しいレベルです。

**学習の心得** エキスパート、ベーシックとも知識を問われる選択式問題です。専用テキストで学習することに加え、実践的な経験を積む必要があります。

## 本学での対応科目・講座

情報メディア学科 : 3DCG演習、ゲームCG演習などが関連しますが、ゼミナール等での専門性が必要となります。

## 全体の合格率・合格者数

CGクリエイター検定エキスパートの合格率

2020(後):23.7%、2020(前):中止、2019(後):22.7%、2019(前):23.6%、  
2018(後):21.7%、2018(前):20.0%、2017(後):22.0%、2017(前):25.7%

## Webデザイナー検定 エキスパート

主催団体 : CG-ARTS協会

試験日 予定 前期:7月 後期:11月 (2021年3月に公開予定)

申込 予定 前期:4月~6月 後期:9月~10月

受験料 エキスパート 6,700円 (ベーシック 5,600円:支援対象外)

Webサイト <http://www.cgarts.or.jp/kentei/about/multimedia/index.html>

試験会場 20都道府県で実施。札幌にも試験会場あり

## 内 容

各種Webサイトのデザインにおいて一定の条件(コンセプト・日程・予算など)のもとにコンセプトメイキング・製作・テスト・評価・運用を行うための、知識や技術が求められます。

## エキスパート

Webサイトの企画・制作・運用に関する専門的な理解と、Webサイトのデザインに知識を応用する能力を測ります。

## ベーシック

Webサイトの企画・制作・デザインに関する基礎的な理解と、Webページ制作に知識を利用する能力を測ります。

エキスパート、ベーシックとも選択式

**レベル** ベーシックは本学3年生でも十分取得できるレベルです。エキスパートは難易度が上がり、講義を聞けば合格できるものでなく、自分でWebサイトを構築した経験があるなどの実践的な経験がないと取得は難しいでしょう。

**学習の心得** 過去問を中心に専用のテキストで勉強すること。その上で制作から運用までのプロセスを理解すること。自分でWebサイトを制作すること。

## 本学での対応科目・講座

本学で完全に対応している科目はありません。  
メディアデザインの基礎演習、デザインエレメンツ・演習、ビジュアル構成・演習、特にWeb制作演習、Web制作プロジェクトなどは参考になります。エキスパート以上はゼミナールレベルの専門性が必要になります。

## 全体の合格率・合格者数

Webデザイナー検定エキスパートの合格率  
2020(後):35.3%、2020(前):中止、2019(後):36.3%、2019(前):29.8%、  
2018(後):49.1%、2018(前):34.9%、2017(後):55.4%、2017(前):38.2%

主催団体 : CG-ARTS協会

試験日 予定 前期:7月 後期:11月 (2021年3月に公開予定)

申込 予定 前期:4月~6月 後期:9月~10月

受験料 エキスパート 6,700円 (ベーシック 5,600円 : 支援対象外)

Webサイト <http://www.cgarts.or.jp/kentei/about/multimedia/index.html>

試験会場 20都道府県で実施。札幌にも試験会場あり

## 内 容

産業や学術分野のさまざまな領域において、一定の条件(開発目標・システム環境・予算・作業工程など)のもと、ソフトウェアや関連するハードウェア、システムの開発ができる能力が求められます。

## エキスパート

CGの技術に関する専門的な理解と、ソフトウェアやハードウェア、システムの開発に知識を応用する能力を測ります。

## ベーシック

CGの技術に関する基礎的な理解と、プログラミングなどに知識を利用する能力を測ります。  
エキスパート、ベーシックとも選択式

## レ ベ ル

ベーシックは本学学生でも取得可能なレベルです。ただし、講義を受講するだけでは合格は難しく、実際に画像を構築するなどの実践的な経験を積んでおくことが望ましいです。  
エキスパートは難易度が上がり、実務経験がないと難しいレベルです。

## 学習の心得

エキスパート、ベーシックとも知識を問われる選択式問題です。専用テキストで学習することに加え、実践的な経験を積む必要があります。

## 本学での対応科目・講座

情報メディア学科 : 2年次科目 3DCG演習

3年次科目 CGプログラミング、画像情報処理

上記科目が関連していますが、ゼミナール等での専門性が必要となります。

## 全体の合格率・合格者数

CGエンジニア検定エキスパートの合格率

2020(後):36.3%、2020(前):中止、2019(後):27.2%、2019(前):36.6%、  
2018(後):45.2%、2018(前):29.4%、2017(後):47.3%、2017(前):37.7%

主催団体 : CG-ARTS協会

試験日 予定 前期:7月 後期:11月 (2021年3月に公開予定)

申込 予定 前期:4月~6月 後期:9月~10月

受験料 エキスパート 6,700円 (ベーシック 5,600円:支援対象外)

Webサイト <http://www.cgarts.or.jp/kentei/about/multimedia/index.html>

試験会場 20都道府県で実施。札幌にも試験会場あり

## 内 容

産業や学術分野のさまざまな領域において、一定の条件(開発目標・システム環境・予算・作業工程・コストなど)のもと、ソフトウェアや関連するハードウェア、システムの開発ができる能力が求められます。

## エキスパート

画像処理の技術に関する専門的な理解と、ソフトウェアやハードウェア、システムの開発に知識を応用する能力を測ります。

## ベーシック

画像処理の技術に関する基礎的な理解と、プログラミングなどに知識を利用する能力を測ります。  
エキスパート、ベーシックとも選択式

**レベル** ベーシックは本学学生でも取得可能なレベルです。ただし、講義を受講するだけでは合格は難しく、実際に画像を構築するなどの実践的な経験を積んでおくことが望ましいです。  
エキスパートは難易度が上がり、実務経験がないと難しいレベルです。

**学習の心得** エキスパート、ベーシックとも知識を問われる選択式問題です。専用テキストで学習することに加え、実践的な経験を積む必要があります。

## 本学での対応科目・講座

情報メディア学科 : 画像情報処理などが関連しますが、ゼミナール等での専門性が必要となります。

## 全体の合格率・合格者数

画像処理エンジニア検定エキスパートの合格率

2020(後):42.8%、2020(前):中止、2019(後):32.6%、2019(前):45.4%、  
2018(後):40.4%、2018(前):31.8%、2017(後):32.8%、2017(前):31.6%

主催団体：一般社団法人 コンピュータ教育振興協会

**試験実施時期** 申込手続き完了次第随時実施(CBT)**申込** Webにて随時受付中**受験料** 2級 5,500円 + 消費税**Webサイト** <http://www.acsp.jp/cad/>**試験会場** 全国各地(札幌にも試験会場あり)**内容**

専門的なCAD利用技術者の育成を目的とする資格試験で、2級試験は2次元系のCADシステムを利用する上での知識を問う筆記試験(多肢選択)です。CADの実技試験はありませんがCADによる製図に習熟していることを前提として出題されています。

**レベル** 大学等においてCADシステムを利用した半年以上の講義を聴講し実習した方、CADシステムを利用する企業において設計・製図業務や営業・販売業務に従事した実務経験を有する方を受験者に想定しています。

**学習の心得** 本学の講義『図形科学の基礎』で図形科学の基礎と製図理論を学び、CADシステムの操作実技を学べば、知識と実技は充分です。試験対策として専用テキストで学習すれば合格できます。  
日本の「ものづくり」を支える製造企業でのCADによる設計・製図や設計事務所等サービス業でのCADデザインを職業として希望する方に適しています。

**本学での対応科目・講座**

情報メディア学科：2年次科目 図形科学の基礎 3年次科目 CAD

**全体の合格率・合格者数**

2次元CAD利用技術者試験(2級)の合格率  
2019:49.2%、2018:50.2%、2017:54.1%、2016:53.3%

# 診療情報管理士認定試験

主催団体：一般社団法人日本病院会 認定機関：(一社)日本病院会、(社)全日本病院協会、(社)日本医療法人協会、(公社)日本精神科病院協会、(公財)医療研修推進財団

試験実施時期	2月第2日曜日(毎年1回)(時間 10:00~16:10)
申 込	10月1日~10月31日
受 験 料	10,000円
Webサイト	<a href="http://www.jha-e.com/">http://www.jha-e.com/</a> (一般社団法人日本病院会 診療情報管理士通信教育:TOPページ)
試験会場	全国15ヵ所 北海道は北海道情報大学にて実施

## 内 容

**試験時間**：専門分野13:10~14:10、基礎分野15:10~16:10

### 試験科目

- (1) 基 礎：医療概論、人体構造・機能論、臨床医学総論、臨床医学各論Ⅰ、臨床医学各論Ⅱ、臨床医学各論Ⅲ、臨床医学各論Ⅳ、臨床医学各論Ⅴ、臨床医学各論Ⅵ、臨床医学各論Ⅶ、臨床医学各論Ⅷ、医学用語
- (2) 専 門：医療管理総論、医療管理各論Ⅰ、医療管理各論Ⅱ、医療情報管理各論Ⅲ、保険医療情報学、医療統計Ⅰ、医療統計Ⅱ、診療情報管理論Ⅰ、診療情報管理論Ⅱ、診療情報管理Ⅲ、国際統計分類Ⅰ、国際統計分類Ⅱ

## レ ベ ル

以上のように履修科目が広範囲にわたりますが、本学の3年前期までに上記試験対応科目の履修と病院実習の修了により、受験資格を得ることができます。病院実習は2年の春休みに最低2週間実施しています。ほとんどの学生は本学科で初めて医学知識を学ぶことにより、医学用語の多さに戸惑いを感じるかもしれませんが、根気良く学ぶ姿勢が必要です。合格は努力次第であり、全国平均は例年約50%前後です。

## 学習の心得

診療情報管理士にとって、多くの履修科目の中でも特に解剖学・生理学・臨床医学等の基礎課程の知識の修得が必須です。特に疾病分類は診療情報管理士にとって高い専門性が要求されますが、急性期病院への DPC/PDPS (Diagnosis Procedure Combination / Per-Diem Payment System)の導入によって、ますます適切な疾病分類能力が求められています。多くの履修科目の中でも、特に解剖学・生理学・臨床医学等の基礎課程における広い知識を修得することが、診療情報管理業務全般の理解度に影響します。また近年は莫大なデータを統計的手法で処理し、さまざまな意味づけをした二次利用もさかんに行われています。情報処理技術もあわせて学習することが将来の可能性拡大につながります。



## 本学での対応科目・講座

- ・医学・医療科目：医療概論、医療制度論、医学用語概説、解剖生理Ⅰ・Ⅱ、臨床医学総論Ⅰ～Ⅳ
- ・診療情報管理科目：病院管理論、医療事務総論Ⅲ、医療制度論、医療情報学概論、医療統計学Ⅰ・Ⅱ、  
病院経営論、医療安全管理学、診療情報管理学総論Ⅰ・Ⅱ、  
国際医療統計分類Ⅰ・Ⅱ
- ・病院実習：2週間(基本的に2月～3月の春休み期間内)

## 全体の合格率・合格者数

### 全体の合格率・合格者数

令和元年度	受験者総数	3,169名	合格者数	1,961名	合格率	61.9%
平成30年度	受験者総数	3,044名	合格者数	1,594名	合格率	52.4%
平成29年度	受験者総数	3,868名	合格者数	2,564名	合格率	66.3%
平成28年度	受験者総数	3,775名	合格者数	1,678名	合格率	44.5%
平成27年度	受験者総数	3,992名	合格者数	2,118名	合格率	53.1%

## その他

### 診療情報管理士をめぐる昨今の医療情勢

H12年4月診療録管理体制の点数化やその後の施設基準(亜急性期入院医療管理料、臨床研修病院)によって診療録管理体制が要件項目となり、更には日本医療機能評価機構の病院評価により、各医療機関では診療情報管理部門の新設や業務内容も充実しつつあり、また、診療情報管理士の教育機関も大学23校、専門学校53校にのぼります。

平成19年4月第5次医療法改正によって「患者への医療に関する情報提供の推進」が提示され、患者はインターネット上から情報を見ることができるようになりました。医療機関は多様な情報を都道府県に報告することが義務づけられ、項目の中には「死亡率、再入院率、疾病別・治療行為別・平均在院日数、治療結果に関する分析など診療情報管理士が関与する情報が含まれ、その専門性が求められています。

また、H20年4月からDPC施行病院の要件として診療録管理体制加算の取得に加え、コーディングの質を適正化するための委員会を設置し、かつその委員として診療情報管理士の参加が、必須条件となりDPCの分析や医療の質の評価・公表等の推進には、情報管理者として診療情報管理士が従事しています。

近年、電子カルテの導入により診療情報が収集しやすくなり、大量の医療情報が蓄積されています。医療ビッグデータ活用には、人工知能(AI)やICTの利用が進み、診療情報管理士には高い専門知識と技術が求められています。

# 医師事務作業補助技能認定試験

(ドクターズクラーク)

※医師事務作業補助技能認定試験に替わる名称

主催団体：厚生労働省認可 一般財団法人 日本医療教育財団(本学は左記財団の認定校)

- 試験実施時期** 年6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月)
- 申 込** 一般財団法人 日本医療教育財団(本学で団体申込)
- 受 験 料** 9,200円
- Webサイト** <http://www.jme.or.jp/exam/dc/index.html>
- 試験会場** 北海道(札幌、旭川、函館、釧路 他)、各都道府県

## 内 容

試験は学科と実技の2つから構成されています。

学科 筆記(択一式)／25問／50分

実技 医療文書作成／筆記(記述式)／4問／60分

具体的な内容は以下の通りです。

学科

1. 医療関連法規  
医療法、医師法、保健師助産師法など
2. 医療保険制度  
健康保険法、国民健康保険法など
3. 医学一般  
人体の構造・組織・器官、診断と治療、医療用語など
4. 薬学一般  
医療品医療機器法、薬物療法
5. 医療と診療録  
診療録の定義と関連法規、電子カルテシステム(オーダーリングシステム)
6. 医師事務作業補助者  
個人情報保護法、代行入力業務、文書作成業務など
7. 病院管理  
安全管理

実技

医師事務作業補助業務

医療文書(各種診断書・証明書・申請書)作成業務

## レベル

医療事務作業補助業務に従事する者の有する知識および技能の程度を本試験により評価します。つまり、医師が行う書類作成の補助を行う上で医学・薬学の知識はもちろん医療制度や各種法律についての知識が備わっていることが求められます。文書のとりまとめと作成に関する日本語の読解能力や文書作成能力も問われることになります。

## 学習の心得

1年生で学ぶ医療情報学概論は医療事務作業補助者の基礎知識研修テキストを使っています。この講義の中で学んだ内容をさらに発展させて勉強することで資格を取得することができます。例えば次のような講義が開講されています。医療入門(1年)、臨床医学総論(1年)、解剖生理(1年)、医療事務総論(1年)、医学用語解説(2年)、医療秘書概論(2年)、医療制度論(2年)、病院管理論(2年)、病院システム情報概説(3年)など。また、文章の読解力や文書作成の能力も問われますので、基礎教養科目も重要になります。

## 本学での対応科目

医療入門(1年)、臨床医学総論(1年)、解剖生理(1年)、医療事務総論(1年)、医学用語解説(2年)、医療秘書概論(2年)、医療制度論(2年)、病院管理論(2年)、病院システム情報概説(3年)、薬学概論(2年)、臨床検査学概論(2年)

## 全体の合格率・合格者数

合格率等は公表されていないが、平均的に60%前後の合格率である。午前の学科は合格点にとどく学生は多いが、午後の実技は実務に沿った内容なので学生には少し難しいが、問題集などでの試験対策が望ましい。

# 医療情報技師能力検定試験

主催団体：日本医療情報学会 医療情報技師育成部会

- 試験日** 2021年8月22日(日)
- 申込** 4月～6月にWebにて受付
- 受験料** 15,000円(消費税込) 認定証および認定カード交付料 無料  
(科目合格者 受験料:13,000円)
- Webサイト** <http://www.jami.jp/jadite/new/index.html>(医療情報技師育成部会ホームページ)
- 試験会場** 札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、北九州、鹿児島、沖縄

## 内 容

保健医療福祉専門職の一員として、医療の特質をふまえ、最適な情報処理技術にもとづき、医療情報を安全かつ有効に活用・提供することができる知識と技術および資質を有することが求められています。

認定試験は、「医学・医療」・「医療情報システム」・「情報処理技術」の3領域からなります。それぞれの領域についての「受験資格保留制」は2年間有効です。

認定証の有効期間は5年間で、この間に50ポイントを獲得した場合は、無試験で医療情報技師の資格が5年間延長されます。

内容は、以下の3領域について知識・技能の到達目標と具体的な行動目標が提示されています。

### 1. 情報処理技術に関すること

- ・ 基本的な情報通信技術(IT)を理解し利用できる
- ・ セキュリティ対策全般を補佐できる
- ・ 情報システムの分析・設計・開発を支援できる
- ・ 医療機関等においてLANの運用管理が支援できる
- ・ 業務用データベースに携わることができる

### 2. 医学・医療に関すること

- ・ 他の医療専門職と円滑な対話ができる患者さんの受け入れから社会復帰のプロセスを理解し説明できる
- ・ 地域における保健医療福祉の連携を理解し、説明できる
- ・ 個人情報の収集、蓄積、伝達、情報開示について理解し、判断できる
- ・ 医療に関する基本的な法制度を知り、医療機関の施設的要件等を説明できる
- ・ 医の倫理、患者の人権・尊厳を理解し説明できる
- ・ 医療保険など社会保障制度を理解し、説明できる

### 3. 医療情報システムに関すること

- ・ 患者の個人情報の種類と構造の特性を知り、収集、伝達などを説明できる
- ・ 医療情報システムの種類、機能、特性について説明できる
- ・ 医療情報システムの利用者に対して操作教育ができる
- ・ 診療情報請求情報や医薬材料情報などの特性を知り、説明できる
- ・ 医療情報システムの障害に対して対策を講じることができる

## レベル

認定機関である日本医療情報学会では、初級医療情報技師という位置づけです。本学の「医学・医療」、「医療情報システム」「情報処理技術」の3年前期までの科目で試験範囲はカバーしています。試験問題は教科書(医療情報 篠原出版新社・全3編)から出題されます。試験問題の内容は基本教科書に沿っており、北海道情報大学 医療情報学科の学生が卒業までに最低限持っていないといけない資格といえます。関連する講義に出席してしっかりとした成績を収めていれば合格することができます。

## 学習の心得

教科書として医療情報第6版「医療情報システム編」、「医学・医療編」、「情報処理技術編」(篠原出版新社)および「医療情報サブノート 第4版」(篠原出版新社、2017年改定)があります。また、過去問題集「医療情報技師能力検定試験 過去問題・解答集」(南江堂)が毎年出版され、問題の解説も載っています。したがって資格勉強しやすい環境が用意されています。教科書により知識の整理を行い、過去問題で問題の傾向を知ることにより合格の確度を上げることができます。また、対策講座(「医療情報演習応用」の講義で実施)を開催しますので受験者は必ず履修してください。3年生で医療情報技師を取得した場合、「医学・医療」は診療情報管理士試験に発展していきますし、他2科目は診療情報管理士試験の「医療情報学」に繋がっていきます。したがって、医療情報技師を合格する学生は高い確率で診療情報管理士にも合格します。

## 本学での対応科目・講座

専門科目「医学・医療科目」、「医療情報システム科目」、「情報科目」のほとんどが試験範囲に含まれますが、その中でも特に関連する科目を挙げます。

- ・医学・医療科目：医療制度論、臨床医学、臨床検査概論、医療統計学 など
- ・医療情報システム科目：医療情報学概論、病院情報システム概説Ⅰ・Ⅱ、放射線医科学概論 など
- ・情報科目：コンピュータシステムⅠ・Ⅱ、システム開発基礎Ⅰ・Ⅱ、ネットワークとセキュリティⅠ・Ⅱ など

## 全体の合格率・合格者数

試験	受験者総数	合格者数	合格率
2019年(第17回)	4,210名	1,410名	33.5%
2018年(第16回)	4,365名	1,502名	34.4%
2017年(第15回)	4,536名	1,521名	33.5%
2016年(第14回)	4,538名	1,548名	34.1%
2015年(第13回)	4,748名	1,697名	35.7%

※ 2020年の本試験は中止となりました

# 診療報酬請求事務能力認定試験

主催団体：厚労省認可 公益財団法人 日本医療保険事務協会

- 試験日** 年2回(7月、12月)、日曜日または祝日
- 申込** 公益財団法人 日本医療保険事務協会 (本学で団体申込)
- 受験料** 9,000円
- Webサイト** <http://www.shaho.co.jp/iryojimu/> (日本医療保険事務協会ホームページ)
- 試験会場** 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都、横浜市、新潟市、金沢市、静岡市、名古屋市、大阪府、岡山市、広島市、高松市、福岡市、熊本市、那覇市
- 内容**

病院経営における主たる収入源である医療制度や診療報酬制度の専門的知識及び実技などの能力が要求される。医療事務資格の最高峰であり、医療事務のスペシャリストを養成するための資格で毎年2回全国一斉統一試験です。

試験科目は

- 学科試験 医療制度、医学医療関係 20問
  - 実技試験 診療報酬請求明細書作成{入院、外来各1問} 2問
- \* 試験時間は、学科試験、実技試験併せて 3時間

- レベル** 本学の医療関係科目を2年間受講すると、これらの試験範囲が網羅されることとなります。この試験は診療報酬関連試験ではハイレベルの試験となります。
- しかしながら、過去の問題など出題の傾向を把握し集中して学習すれば合格は可能です。
- なお、将来の就職先として病院及び医療関連企業を希望するのであればこの資格は有効です。IT化が進んだ医療機関では情報系に強みのある学生で、なおかつこの診療報酬請求事務能力認定試験の有資格者を採用する傾向となっています。

- 学習の心得** 試験には保険制度、医学医療の基礎知識からなる学科と診療報酬請求明細書作成からなる実技があることから、過去の問題に十分取り組んでおかなければ合格はできません。
- 授業は1、2年生で学んだ保険制度、医学医療の基礎知識と診療報酬請求事務業務をさらに高度な視点から追求し、知識を醸成させるために対策講座を実施しています。高度なこの資格取得対策としては、過去問題などを数多く演習することで可能とします。

## 本学での対応科目・講座

(医療情報システム科目として)

- ① 医療事務総論(1年前期)
- ② 診療報酬請求事務論(1年後期)
- ③ 診療報酬請求事務論演習(2年前期)

## 全体の合格率・合格者数

令和元年度	12月(第51回)	医科受験者総数	5,337名	合格者数	1,469名	合格率	27.5%
令和元年度	7月(第50回)	医科受験者総数	3,947名	合格者数	1,374名	合格率	34.8%
平成30年度	12月(第49回)	医科受験者総数	6,119名	合格者数	1,738名	合格率	28.4%
平成30年度	7月(第48回)	医科受験者総数	3,894名	合格者数	1,618名	合格率	41.6%
平成29年度	12月(第47回)	医科受験者総数	7,019名	合格者数	2,152名	合格率	30.7%
平成29年度	7月(第46回)	医科受験者総数	4,688名	合格者数	1,479名	合格率	31.5%
平成28年度	12月(第45回)	医科受験者総数	7,232名	合格者数	2,840名	合格率	39.3%
平成28年度	7月(第44回)	医科受験者総数	4,581名	合格者数	1,339名	合格率	29.2%
平成27年度	12月(第43回)	医科受験者総数	8,038名	合格者数	3,107名	合格率	38.7%
平成27年度	7月(第42回)	医科受験者総数	5,529名	合格者数	1,845名	合格率	33.4%

## その他

実践を踏まえて指導するので、資格取得は難関ではありますが、スケジュール管理や勉強方法を確立することで合格への道筋をたてられる指導を行ないます。

具体的には過去問のほか、あらゆる出版社から出ている多角的な問題をクリアすることで合格ラインへの到達を目指します。

# 健康食品管理士認定試験

主催団体：一般社団法人 日本食品安全協会

- 試験実施時期** 毎年5月、11月(年2回)  
2020年度:コロナウイルス感染拡大防止のため春期(5月)試験は中止、秋期(11月)試験はWEB試験
- 申 込** 5月:3月～4月の2ヶ月間  
11月:7月～9月の2ヶ月間
- 受 験 料** 10,000円、認定登録料10,000円(合格後)  
※既卒者は受験料15,000円、認定登録料20,000円
- Webサイト** <http://www.ffcci.jp/index.html> (日本食品安全協会ホームページ)
- 試験会場** 札幌、東京、名古屋、大阪、鈴鹿、福岡、その他(会場決定次第ホームページに掲載予定)  
※WEB試験で実施することがあります。
- 内 容**

健康食品管理士とは、一般社団法人日本食品安全協会が健康食品等の安全性、効果、医薬品との相互作用及びその取り扱いに関する知識を有し、健康食品等を摂取する消費者の健康状態の判断等に一定レベルの能力があると認めた者で、消費者に対し健康食品等を適正に利用することとその被害から守ることに指導的役割を担える人材です。

健康食品管理士が資する能力として平成14年に厚生労働省から発出した通知「保健機能食品に係るアドバイザースタッフの養成に関する基本的考え方について」の考えが重視されています。そのため、健康食品管理士は、健康食品と健康との係わりを物質代謝レベルで理解が可能であり、かつ疫病や生活習慣病等の検査結果に関する知識を有し、『食品、健康食品に関して安心・安全』を担保可能な人材とこの分野における研究開発、販売等でのトラブルを未然に防ぐことのできる人材になります。具体的には次のような能力が挙げられます。

1. 健康食品などの分類ができ、適正摂取に関して安全性も含めて有用性を判断できる。
2. 健康食品の過剰摂取が引き起こす障害など問題点の認識ができる。
3. 医薬品と健康食品の相違について認識ができる。
4. 医薬品による治療に対して健康食品の使用のあり方を判断できる。
5. 健康食品など生体に何らかの作用のある食品と医薬品との相互作用の判断ができる。
6. 食品及び食品添加物の安全性に関する認識ができる。
7. 健康状態の情報としての臨床検査に関する知識を有しその利用ができる。
8. 健康状態に応じた食品及び健康食品などの適切な利用法が判断できる。
9. 薬機法、健康増進法、食品衛生法、JAS法の理解ができる。
10. 消費者保護の観点で健康食品に関する相談に応ずることができる。



## 試験科目と出題数（全100問）

	科目名	出題数
(1)	健康食品総論(保健機能食品総論)	33
(2)	健康食品各論(保健機能食品各論)	
(3)	食品と栄養	15
(4)	食品表示・食品の安全性	10
(5)	疾患と栄養(病態解析と栄養管理)	10
(6)	医薬品と食品の相互作用	10
(7)	関係法規	7
(8)	疾患と病態解析(病態解析と栄養管理)	15

試験は択一式試験です。

**レベル** 本学での試験対策科目の履修により、認定試験の受験資格を得ることができます。医療および保健に関する基礎知識に加え、食品学、栄養学、薬学およびそれらに関する法規などの知識が必要となります。また食のアドバイザースタッフとしてのコミュニケーション能力も必要です。

**学習の心得**

- ・ 食品の栄養および機能性について理解し、それらを健康づくりおよび疫病治療に
- ・ 健康食品管理士は、食品の知識はもちろんその摂取方法など具体的な提案ができる人材に
- ・ 保健機能食品学および問題解説集を用いてしっかりと学習することは必須です。

### 本学での対応科目・講座

- ・「基礎科目」：生化学、生理学、解剖学、医学入門、臨床医学総論、臨床病理学、臨床医学ⅠおよびⅡ
- ・「専門科目」：食品化学、栄養学、食品関係法規、臨床検査概論、薬学概論、保健衛生総論、バイオテクノロジー実習

## 第1種・第2種ME技術実力検定試験

主催団体：公益社団法人 日本生体医工学会

<b>試験実施時期</b>	2種：年1回（9月上旬の日曜日） 1種：年1回（6月）
<b>試験会場</b>	2種：札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、福岡 1種：札幌、東京、名古屋、大阪、福岡
<b>受験料</b>	2種：12,000円 1種：20,000円（初回） 12,000円（再受験）
<b>Webサイト</b>	<a href="http://megijutu.jp/">http://megijutu.jp/</a>

## 内 容

## 2種

この試験は公益社団法人 日本生体医工学会が主催する検定試験で、「ME機器・システムの安全管理を中心とした医用生体工学に関する知識をもち、適切な指導のもとで、それを実際に医療に応用しうる資質」を検定するものです。合格者は日本生体医工学会より合格証明証が交付され、「第2種ME技術者」の呼称が使用できます。また、第1種ME技術実力検定試験の受験資格が得られます。

また臨床工学技士を目指す学生にとっては国家試験へ向けての実力確認ともいえる内容です。さらにまだ国家試験に合格していない学生が臨床工学技士として就職活動を行う場合、この資格により国家試験合格の見込みを示すことができ、就職活動を円滑に行うことができます。

試験の内容はICU・CCU、手術室、透析室、検査室、滅菌材料室、病室、診察室などの医療の現場（在宅を含む）で使用されている機器・システムを安全に正しく運用するために必要な基礎的事項について出題されます。具体的には下記のとおりです。

## I. 基礎的知識

## 1) MEの基礎となる医学的知識：

循環、呼吸、代謝、脳神経、運動、感覚、内分泌などの解剖や生理に関する基礎的知識、  
医療制度や公衆衛生に関する基礎的知識

## 2) MEの基礎となる理工学的知識：

直流・交流回路、増幅器、フィルタ回路などの電気・電子回路、流体力学、粘弾性、  
化学式、熱力学、コンピュータ、などに関する基礎的知識

## 3) MEの基礎的知識：

生体の物理特性（電気、力、流体、温熱、音響、光、放射線など）および化学的特性、生体計測の原理、  
単位や定数、変換素子の基礎的知識

## II. 実際的知識

医療の現場で使用される機器・システムについて、下記のような知識が問われます。

機器・システムには心電計、脳波計、筋電計、生体情報モニタ、血圧計、血流計、呼吸計測装置、各種血液ガス分析装置、医療画像診断装置（超音波診断装置、X線CT、PET、MRIなど）、麻酔器、電気メス、レーザメス、除細動器、人工呼吸器、血液浄化装置、体外循環装置、ペースメーカーなどが含まれます。

### 1) 原理、構造に関する知識：

機器・システムの原理、構造、性能など(JISを含む)

### 2) 操作、運用に関する知識：

操作法、校正法および消毒・滅菌、保管手段、日常点検、トラブル対策など

### 3) 保守、点検に関する知識：

漏れ電流、接地抵抗、絶縁抵抗などの安全点検および機器の機能点検、主要な故障診断法とそれにとまなう測定器の使用法など

### 4) 安全性、信頼性に関する知識：

電氣的安全性(マイクロショック、マクロショックなど)についての対策に関する事項、爆発、火災、熱傷、機械的破壊などの物理的・化学的エネルギーに対する対策、電磁両立性(EMC)、故障率、信頼度など

### 5) 病院設備に関する知識：

電気設備(接地、非常電源、非接地配線)、医療ガス設備など

**試験方法は午前午後それぞれ60問ずつ出題され、各問は五者択一式です。**

**午後の試験はさらに小論文試験が追加されます。**

**合格点は6割(72点)とされています。**

## 1種

第1種ME技術実力検定試験は、病院などの施設で医療機器、介護・福祉機器およびそれらのシステム(以下、ME機器)の使用や保守・安全管理など、機器関係の総合管理をされている方、会社等でME機器の研究・開発、生産、販売、保守などを担当されている方などを対象としてその技術力や指導力を学会が検定するものです。

内容はME2種検定と同じ範囲ですが、より高度な内容や複雑な内容、及び現場の課題を解決に導く能力を問われる内容となっています。

## 学習の心得

この資格取得のためには日々の授業内容をしっかり理解することはもちろん重要です。さらにこの試験は時間制限が比較的厳しく、制限時間内に問題を解く練習を過去問を中心に繰り返し行う必要が有ります。また小論文については規定文字数を埋めないと選択問題の点数に関わらず不合格となりますので、練習しておく必要が有ります。

## レベル

本学臨床工学専攻の学生にとっては3年生の9月までには合格に必要な知識を得ることが出来ませんが、2年生から受験合格することは可能です。難易度としては全体で毎年30%程度の合格率となっています。

## 本学での対応科目・講座

医療情報学科 臨床工学専攻のカリキュラムにおいて専門科目 医学医療科目、医用工学科目全般

## その他

第1種ME技術実力検定試験の、受験条件 第2種ME技術検定試験合格者、臨床工学技士  
なお受験に必須ではありませんが、毎年4月に主催の講習会があります。(5000円+テキスト代)



## 医療系

## 登録販売者試験

主催団体：各都道府県

(北海道：北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課)

**試験日** (北海道：例年は8月末に実施。令和2年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため12月13日(日)に実施) 各都道府県でばらつきがあります。

**申込** 次の書類を各1部提出する。  
(1)登録販売者試験受験願書 (2)写真 (3)入力通知書  
※北海道で受験する場合は受付期間、提出先については北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課のホームページを確認してください。受験者案内として発行される「登録販売者試験を受験される方へ」、及び、受験願書、入力通知書については同ホームページよりダウンロードできます。

**受験料** 18,200円(令和2年度 北海道)

**Webサイト** <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/iyk/index.htm>  
(北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課ホームページ)

**試験会場** 北海道(札幌市、旭川市、函館市、釧路市)、他各都府県  
個別の受験会場については受験票で確認してください。

## 内 容

登録販売者は2009年の薬事法の改正によって新設された国家資格です。かぜ薬や鎮痛剤などの一般用医薬品の販売に携わる資格で、薬剤師とは①処方箋に基づく薬の調剤ができるかできないか、②要指導医薬品及び第一類医薬品が販売できるかできないかの2つの点で異なります。登録販売者資格の取得後は、一般用医薬品の9割以上を占める第二类・第三類医薬品の販売が可能になります。現在、日本では医療費抑制に向けた施策として「セルフメディケーション」が推進されていますが、登録販売者は地域医療のサポート役としてもニーズが拡大しています。2015年4月1日以降の試験より学歴・年齢・実務経験が不問になり受験資格が緩和されました。試験項目は表のとおりです。

試験項目	出題数	試験時間
①医薬品に共通する特性と基本的な知識	20問	40分
②人体の働きと医薬品	20問	40分
③主な医薬品とその作用	40問	80分
④薬事に関する法規と制度	20問	40分
⑤医薬品の適正使用と安全対策	20問	40分
合 計	120問	240分

【試験方法】 試験は、筆記(マークシート)の方法により実施

【合格基準】 原則として、総合得点の7割以上、かつ、各項目の得点が3.5割以上(北海道)

**レベル** 登録販売者試験は厚生労働省が作成している「試験問題の作成に関する手引き」(以下、手引き)の内容、及び「例題」の形式に準拠して出題されますが、本学医療情報学部の「医学・医療科目」をしっかりと理解できれば十分に合格できます。

**学習の心得** 受験に際しては「手引き」の内容を正しく覚え理解することが重要です。総得点の7割以上が合格の目安ですが、1項目でも都道府県が定める基準(北海道は4割)を下回ると不合格になりますので苦手項目をつくらないことも大切です。また、過去問を多く解き、出題形式にも慣れておくようにしましょう。

## 本学での対応科目・講座

医療情報学部の「医学・医療科目」全般(特に、医学概論、解剖学、生理学、病理学、薬理学、生化学、栄養学など)。Jゼミ等で対策講座を行います。

## 全体の合格率・合格者数

登録販売者試験データ(全国合計値)

	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
2019年	65,228(2,085)	28,328(1,340)	43.4(64.3)
2018年	65,500(1,937)	27,022(1,136)	41.3(58.6)
2017年	61,126(2,032)	26,606(1,268)	43.5(62.4)
2016年	53,369(1,652)	23,330(895)	43.7(54.2)
2015年	49,864(1,745)	22,901(1,134)	45.9(65.0)
2014年	31,362(972)	13,627(529)	43.5(54.4)

※( )内は北海道の数値

**試験実施時期** 年1回(1月上旬の日曜日)

**受験料** 13,000円

**認定セミナー受講料** 24,000円(4科目のテキスト代およびスライドレジメ集を含みます)

**Webサイト** <https://www.jsmi.gr.jp/license/mdic/>

## 内 容

この試験は、医療機器の品質向上、安全性の確保並びに適正使用の普及を目指し、ヒヤリ・ハット情報や不具合情報等を含む情報の収集・提供や医療機器全般の適正な使用および保守管理に必要な知識・技術などの情報を医療安全管理者・医療機器安全管理責任者や医療機器の利用者(医師・看護師・臨床工学技士ほか)等と製造・販売・賃貸業者、修理業者を含む医療機器の製造販売業者等との間で共有し、患者の安全と医療の質向上に貢献できる担当者となる医療機器情報コミュニケーターMDIC(エム・ディー・アイ・シー)を学会で認定するもので、MDIC認定セミナーを受講後、検定試験の合格者には日本医療機器学会より合格証明証が交付され「医療機器情報コミュニケーターMDIC」の呼称が使用できます。

また、臨床工学技士を目指す学生にとっては国家試験に向けての実力確認ともいえる試験内容です。さらに本試験の合格者は、就職活動を行う場合、PRポイントとなり就職活動を円滑に行うことができます。

試験内容は、医療概論、臨床医学、臨床工学、医療情報の4科目からなり医療機器の基本的な適正使用および関連する技術情報に必要な知識並びにコミュニケーション力、ヒヤリ・ハット、不具合情報等の医療機器に関する安全性情報の収集、あるいは提供に必要な基礎的事項について出題されます。

### I. 医療概論

- 1) 医学・医療とその社会における役割
- 2) 医療の現状と課題
- 3) 医療機器と医薬品
- 4) 社会保障制度と医療
- 5) 医療資源の現状と課題
- 6) 我が国の医療のしくみ
- 7) 医療安全管理
- 8) 医療保険制度と介護保険制度
- 9) 関連法規



## Ⅱ. 臨床医学

- 1) 人体の基本構造
- 2) 疾患概論
- 3) 診断学
- 4) 医療機器と感染管理・安全管理
- 5) 臓器と疾患

## Ⅲ 臨床工学

- 1) 医療機器の安全基準
- 2) 医療機器の保守点検
- 3) 生体計測機器の原理・取り扱い上の注意と保守点検
- 4) 治療機器の原理・取り扱い上の注意と保守管理

## Ⅳ 医療情報

- 1) コンピュータの基礎
- 2) 情報セキュリティの基礎
- 3) 医療情報の特殊性と医療情報システム
- 4) 診療録とその他の諸記録
- 5) 病院情報システム
- 6) 医療情報の標準化

試験方法は医学概論、臨床医学、臨床工学、医療情報それぞれに分かれ各科目40問(合計120問)出題されます。各問は五者択一です。  
合格ラインは4科目すべてが60%以上とされています。

- レベル** 本学臨床工学専攻の学生にとっては3年次前期までには合格に必要な知識を得ることが出来ます。2年生での受験で合格することも可能です。  
公表はされていませんが、難易度としては全体で毎年50～60%程度の合格率とされています。

**学習の心得** この資格取得のためには日々の講義内容をしっかり理解することが重要です。

## 本学での対応科目・講座

臨床工学専攻カリキュラムにおける専門科目すべておよび情報系基礎科目

## 教養系

# 実用英語技能検定 (英検: 1級・準1級・2級・準2級)

主催団体 : 財団法人 日本英語検定協会

- 試験日** 第1回: 一次5月30日(日) 二次A日程 6月27日(日) B日程 7月4日(日)  
 第2回: 一次10月10日(日) 二次A日程 11月7日(日) B日程 11月14日(日)  
 第3回: 一次1月23日(日) 二次A日程 2月20日(日) B日程 2月27日(日)
- 申込** 第1回: 3月25日~4月15日 第2回: 8月1日~8月27日 第3回: 11月1日~12月10日
- 受験料** 1級 10,300円 準1級 8,400円 2級 7,400円 準2級 6,900円 (3級 5,900円 支援対象外)
- Webサイト** <https://www.eiken.or.jp>
- 試験会場** 全国各地 札幌近郊でも複数箇所で開催

## 内容

語学試験の中で最も有名な検定試験。年間受験者数は360万人。近年は試験内容も、よりコミュニケーション的な内容となり、進学や就職の選考資料として活用され、信頼度は非常に高い。アメリカ、オーストラリアなどへの海外留学時の語学力証明としても認められている。上位級取得者が就職活動で有利というのは、学生の間では常識である。本学の学生も、中学や高校等ですでに受験している者も多いことだろう。したがって形式にはなじみがあると思う。一次試験では「正確な知識と運用力」、二次試験では「コミュニケーション能力」に重点が置かれている。

- レベル** 本学学生に関して言えば、上位者は2級や準1級、中位者は準2級、下位者は3級を目指してもらいたい。卒業までに準2級レベルの英語力は欲しい。できれば2級レベルが望ましい。

- 学習の心得** 過去の傾向や対策がわかるので専用テキストの使用が必要である。英語検定のテキストは本学図書館にもあるが、主に2級のものである。それ以外の級については、書店で買い求めること。不明な点や助言が必要であれば、217研究室(伊藤)、309研究室(竹内)まで問い合わせること。

## 本学での対応科目・講座

基礎英語AB、英語表現 I AB、実用英語AB、英語表現 II AB、職業英語AB、専門英語、自主ゼミ(Jゼミ)

## 全体の合格率・合格者数

2015年度では、1級(12.0%) 準1級(16.0%) 2級(26.4%) 準2級(36.7%) 3級(52.9%)  
 本学学生の合格者は準1級や2級数名。準2級、3級は多数。2016年度以降は非公開。

- 試験実施時期** 試験:1月、3月、4月、5月、6月、9月、10月、11月、12月(受験月によって受験地は異なる)
- 申 込** 試験日約3カ月前～約1ヵ月半前まで
- 受 験 料** 6,490円(インターネット申込をすると1年後にリピート受験割引の対象になる)
- Webサイト** <https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/>
- 試験会場** 全国主要都市約200カ所以上 回によって実施されない受験地もあるので事前に確認のこと

## 内 容

世界共通の基準で自分の実力を知ろう！ 世界約150カ国で実施されている大規模なテストで、日本だけでも年間220万人(2019年度)が受験している。英語によるコミュニケーション能力を評価するのだが、その評価は世界的に共通の基準として認められており、スコアの信頼性も高い。そのため多くの企業で社員の英語能力を測る基準として活用されている。ビジネスの舞台を海外に求める人は、Bレベル以上を目指したい。(Aレベル:860～990点、Bレベル:730～855点、Cレベル:470～725点、Dレベル:220～465点、Eレベル:10～215点)

なおTOEICブリッジは基礎レベルの試験であり、180点満点である。ブリッジの150点がTOEICの約470点に相当する。

- レ ベ ル** 本学学生に関して言えば、上位者はB～Cレベル、中位者はC～Dの上レベル、下位者はDの中～上レベルを目指してもらいたい。
- 学習の心得** 書店には非常に多くのTOEICの参考書があふれている。傾向や対策がわかるので専用テキストの使用が必要である。不明な点や助言が必要であれば、309研究室(竹内)、217研究室(伊藤)まで問い合わせること。また職業英語や自主ゼミでも講座を開いているので積極的な受講を薦める。

## 本学での対応科目・講座

職業英語AB、自主ゼミ(Jゼミ)

## 全体の合格率・合格者数

TOEICは合格、不合格のテストではなく点数で評価される。英語を専門としない者でBレベルに達するなら、それは優秀な人材であり、企業から引手あまたであろう。本学でもAレベルの点数を取った者がいる。Cレベルも少数いる。情報大学からBレベル以上をとる者が多数出てきて欲しい。

## 教養系

TOEFL<sup>®</sup> (スコア60以上)

主催団体 : ETS (Educational Testing Service)

**試験実施時期** 基本的に土日に実施される。  
北海道でも1ヵ月に複数回実施されている。不定期なので随時調べること。

**申 込** オンラインまたは電話にて。定員になり次第締め切り。  
北海道の会場は数日で埋まってしまうこともあるので要注意。

**受 験 料** 受験日の7日前まで:235米ドル 受験日の2日前まで:275米ドル

**Webサイト** <https://www.cieej.or.jp/toefl/>

**試験会場** 全国の主要教育施設約70か所 北海道では北海道大学、  
イーエデュケーションズ札幌テストセンター、株式会社SAP

## 内 容

英語を母国語としない人が、英語圏の大学や大学院等への留学を希望したり、国際政府機関等で働こうとする際に、それに足りる英語力があるかどうかを評価する試験。 可否の判定はなく、得点で英語力レベルを把握するのが目的である。 以前はペーパー(PBT)であったり、コンピューター(CBT)を利用したりしていたが、現在はインターネット版(IBT)に切り替わっていて、オンラインで解答する形式である。

**レ ベ ル** 留学を志す者であれば、学部レベルなら75点、大学院レベルなら80点は欲しいところである。ただし相当難しい。60点(PBTの500点)なら、本学学生では上位の英語力である。  
受験料は235米ドルとたいへん高い。

**学習の心得** 書店には数種類のTOEFLの参考書がある。傾向や対策がわかるので専用のテキストを使用する方がいい。不明な点や助言が必要であれば、309研究室(竹内)まで問い合わせること。受験料は高いが、何回か受けると問題に慣れてくる。

## 本学での対応科目・講座

特になし

## 全体の合格率・合格者数

TOEFLもTOEIC同様合格、不合格のテストではなく点数で評価される。本学でも長期留学を志す者が年に1~2人受けるが、高得点をとれないでいる。留学先の大学で単位をとるためには70~80点は必要である。今後はTOEFLで高得点をとり留学先で単位をとる学生が現れることを期待している。

主催団体：財団法人ドイツ語学文学振興会

試験実施時期 毎年夏(6月)と冬(12月)

申込 4月～5月、9月～10月(2つの級を同一日に受験することも可能)

受験料 2級 8,250円 3級 6,710円 4級 4,620円 (5級 3,630円: 支援対象外)  
 ※併願: 3級+4級 10,230円(両方合格: 3級分のみ支援、4級のみ合格: 4級分のみ支援)  
 4級+5級 7,150円(合格の場合: 4級分のみ支援)

Webサイト <http://www.dokken.or.jp>

試験会場 北海道大学(または小樽商科大学、北海学園大学など。H28～R2年冬は本学で実施)

## 内容

発音問題、文法問題、聞き取り問題、読解問題など。

レベル ドイツ語 I ABで学ぶ基本的文法事項をマスターし、語彙力をつければ5級は楽に受かると思われる。ドイツ語 II ABまで学べば4級以上を目指せるであろう。

学習の心得 基本的文法事項を反復練習し、音読練習、聞き取り練習を繰り返すことが大事である。  
 「習うより慣れよ」を実践すること。

## 本学での対応科目・講座

ドイツ語 I AB、ドイツ語 II AB

## 全体の合格率・合格者数

5級は2008年度秋季から新設され、合格率は、第1回が87%、第2回が94%だった。4級の場合、春・秋ともに合格率は70%前後で推移している。本学では過去において3級合格者が3名、4級合格者も5名ほど出ている。ドイツ語 II ABで優を取った学生が全員受験するなら、4級～5級合格者は毎年5名は下らないと思われる。

教養系

# 中国語検定試験(4級)

主催団体 : 一般財団法人 日本中国語検定協会

**試験実施時期** 3月第4日曜日、6月第4日曜日、11月第4日曜日

**申込** 各試験日の2か月前の15日から翌月15日まで  
インターネット申込の締め切り日についてはWebサイトにて、ご確認ください。

**受験料** 「郵送による申込」と「インターネット申込」の受験料は異なります。

級	郵送申込	インターネット申込
4級	4,200円	4,000円
準4級(支援対象外)	3,200円	3,000円

**Webサイト** <http://www.chuken.gr.jp>

**試験会場** 北海道から沖縄までの国内主要都市と北京、上海など海外での受験も可能

## 内 容

### リスニング試験と筆記試験

**4級**

単語の意味、漢字のピンインへの表記がえ、ピンインの漢字への表記がえ、  
常用語500~1000による中国語単文の日本語訳と日本語の中国語訳。

**準4級**

- ① 基礎単語約500語(簡体字を正しく書けること)
- ② ピンイン(発音ローマ字)の読み方と綴り方
- ③ 単文の基本文型
- ④ 簡単な日常挨拶語約50~80

級	試験時間	配点	合格基準点
4級	100分	200点(リスニング100点、筆記100点)	各60点
準4級	60分	100点(リスニング50点、筆記50点) (準4級はリスニングを受験しない場合、不合格)	60点

## レ ベ ル

**4級**

中国語の基礎をマスター。平易な中国語を聞き、話すことができること。  
(学習時間120~200時間、大学の中国語 I AB及び中国語 II ABの2年間8単位修得レベル)

**準4級**

中国語学習の準備完了。中国語の学習を進めていく上での基礎的知識を身につけていること。  
(学習時間60~120時間、大学の中国語 I ABの1年間4単位修得レベル)

## 学習の心得

中国語検定試験の問題には、いささか独特の傾向があります。受験前には、過去の問題内容や傾向を事前に確認しておき、模擬試験問題集などを何回かやっておく必要があります。そうすれば、本学の中国語の授業にまじめに取り組んでいる学生の合格率は、必ず高くなるはずです。

合格への対策としては、特に中国語の基本単語のピンインと声調は、確実に覚えておきたい。リスニングの試験もあるので、普段から中国語の教科書のCDなどを多めに聞いておかなければ、この分野ではかなり苦勞するかも知れません。

文法の問題には、語順の並べ替えの問題も出題されるので、教科書の初級文法とその用例は、毎回の授業の中で着実にマスターしておきたい。とにかく、正しい中国語をきちんと書き、話す能力や技量があれば、筆記試験での合格はそれほど難しくはありません。

受験希望者は、準4級であれば一年次の3月頃受験し、4級は二年次の3月頃に受験すれば、本学学生の中国語の実力が試験の合格基準点に到達していると考えられるので、おそらく合格率は高くなるでしょう。

資格試験の合格には、学生の勉強時間や情熱が大きく関係するので、受験の時期を慎重に選択することも、順調な合格には、極めて大事なことです。

## 本学での対応科目・講座

中国語 I AB(一年次通年)、中国語 II AB(二年次通年)

## 全体の合格率・合格者数

過去の本学学生の合格者数については、正確には調査されていませんが、準4級と4級の合格者は、それぞれ毎年2～3名出ています。

## 教養系

# 実用数学技能検定(1級・準1級・2級)

主催団体 : 日本数学検定協会

**試験実施時期** 個人受験と団体受験があります。(団体受験には5人以上の受験者が必要で、日程は個人受験とは異なります)

**申込** 個人受験: 年3回

回	検定日	検定開始時刻	受付開始日	申込締切日
第372回	2021年4月11日(日)	午後 (受験証に記載)	2月8日(月)	3月5日(金)
第376回	2021年7月18日(日)		5月17日(月)	6月8日(火)
第380回	2021年10月31日(日)		8月30日(月)	9月21日(火)

**申込方法:** 個人受験の申し込み方法は、次の4通りがあります。

- ① インターネットで申し込む
- ② LINEで申し込む
- ③ 郵送で申し込む
- ④ コンビニに設置の端末から申し込む

**受験料** 1級 7,800円 準1級 6,700円 2級 6,000円 (準2級 5,200円:支援対象外)

**Webサイト** <http://www.su-gaku.net/>

**試験会場** 個人受験の会場(一般会場)は、全国各地にあります。  
(札幌市では、道特会館、大原法律公務員専門学校)  
詳しくはWebサイトで確認してください。

## 内 容

1. 1次検定(計算技能検定)と2次検定(数理技能検定)があります。
2. 1次、2次を同日に行います。初めて受験するときは、1次・2次両方を受験します。
3. 1次検定のみに合格すると計算技能検定合格証、2次検定のみに合格すると数理技能検定合格証、1次2次ともに合格すると実用数学技能検定合格証が発行されます。  
1次2次とも不合格の場合は、級に応じて未来期待証が発行されます。
4. 各検定日の約3週間後に、インターネットを利用して検定の可否のみ確認することができます。

## レ ベ ル

**1級** 大学程度  
合格率は13.2%

**準1級** 高校3年生(数学Ⅲまで)程度  
合格率25.2%

**2級** 高校2年生(数学Ⅱ・Bまで)程度  
合格率28.2%

**準2級** 高校1年生(数学Ⅰ・Aまで)程度  
合格率48.9%

※合格基準はいずれも、1次70%程度、2次60%程度 ※合格率は2019年度の実績



## 出題内容

- **1 級**: 検定時間は1次60分、2次120分、主に下のAの範囲から出題される。
- **準1級**: 検定時間は1次60分、2次120分、主に下のB、Cの範囲から出題される。
- **2 級**: 検定時間は1次60分、2次90分、主に下のC、Dの範囲から出題される。
- **準2級**: 検定時間は1次60分、2次90分、主に下のD、Eの範囲から出題される。

### ■ A (大学)

**解 析** : 微分法、積分法、基本的な微分方程式、多変数関数(偏微分・重積分)、基本的な複素解析  
**線形代数**: 線形方程式、行列、行列式、線形変換、線形空間、計量線形空間、曲線と曲面、線形計画法、二次形式、固有値、多項式、代数方程式、初等整数論  
**確率統計**: 確率、確率分布、回帰分析、相関係数  
**コンピュータ**: 数値分析、アルゴリズムの基礎  
**その他**: 自然科学への数字の応用 など

### ■ B (高校3年: 数学III程度)

数列と極限、関数と極限、いろいろな関数(分数関数・無理関数)、合成関数、逆関数、微分法・積分法、行列の演算と1次変換、いろいろな曲線、複素数平面、基礎的統計処理、コンピュータ(数式処理)など

### ■ C (高校2年: 数学II・数学B程度)

式と証明、分数式、高次方程式、いろいろな関数(指数関数・対数関数・三角関数・高次関数)、点と直線、円の方程式、軌跡と領域、微分係数と導関数、不定積分と定積分、ベクトル、複素数、方程式の解、確率分布と統計的な推測、コンピュータ(数値計算) など

### ■ D (高校1年生: 数学I・数学A程度)

数と集合、数と式、2次関数・グラフ、2次不等式、三角比、データ分析、場合の数、確率、整数の性質、 $n$ 進法、図形の性質、等差数列、等比数列、コンピュータ(流れ図・近似値)、統計処理の基礎、離散グラフ、数字の歴史的観点 など

### ■ E (中学3年程度)

平方根、式の展開と因数分解、素因数分解、二次方程式、三平方の定理、円の性質、相似比、面積比、体積比、簡単な二次関数、簡単な統計 など

## 学習の心得

対策用の参考書や問題集が多く出版されていますので、検定前にはそれらを一通り解いておくことも必要です。ただ、基本からきちんと学習したい場合には、高校時代の教科書で復習することが一番よいでしょう。

## 本学での対応科目・講座

本学で開講される数学系の科目「基礎数学」、「関数の基礎」、「微分積分 I・II」、「線形代数 I・II」、「確率・統計 I・II」、「幾何学入門」などが対応科目です。

# 実用フランス語技能検定試験(4級以上)

主催団体 : 公益財団法人 フランス語教育振興協会

<b>試験日</b>	春 1次試験(1・2・準2・3・4・5級)	2021年 6月20日(日)
	2次試験(1級・2級・準2級の1次合格者対象)	2021年 7月18日(日)
秋	1次試験(準1・2・準2・3・4・5級)	2021年11月21日(日)
	2次試験(準1級・2級・準2級の1次合格者対象)	2022年 1月23日(日)

<b>申込</b>	春 願書郵送によるお申し込み	: 2021年4月16日(木)~5月19日(水)消印有効
	インターネットでのお申し込み	: 2021年4月16日(木)~5月26日(水)23:59まで
秋	願書郵送によるお申し込み	: 2021年9月上旬 (予定)
	インターネットでのお申し込み	: 2021年9月上旬 (予定)

<b>受験料</b>	1級 13,500円	準1級 11,500円	2級 9,000円	準2級 8,000円
	3級 6,000円	4級 5,000円	(5級 4,000円 : 支援対象外)	

**Webサイト** <http://apefdapf.org/>

**試験会場** 札幌

## 内 容

### 4級

読む(基礎的な単文の構成と文意の理解。基礎的な対話の理解。)

聞く(基礎的な文の聞き分け、日常使われる基礎的応答表現の理解、数の聞き取り。)

文法知識(基礎的な日常表現の単文を構成するのに必要な文法的知識。)

語彙:920語 標準学習時間:100時間以上

### 3級

読む(日常的に使われる表現を理解し、簡単な文による長文の内容を理解できる。)

書く(日常生活で使われる簡単な表現や、基本的語句を正しく書くことができる。)

聞く(簡単な会話を聞いて内容を理解できる。)

文法知識(基礎的文法知識全般。動詞については、直接法、命令法、定型的な条件法現在と接続法現在の範囲内。)

語彙:1,670語 標準学習時間:200時間以上

他の級の内容については、Webサイトを参照してください。

## レベル

4級

基礎的な日常的フランス語を理解し、読み、聞き、書くことができる。

3級

フランス語の文構成についての基本的な学習を一通り終了し、簡単な日常表現を理解し、読み、聞き、話し、書くことができる。

他の級のレベルについては、Webサイトを参照してください。

## 学習の心得

受験用の参考書・問題集が多数出版されています。初めてフランス語を学習する場合は、まず単語を覚えましょう。そして、基本的な文法事項を学習したら、文法事項ごとに例文を音読し、さらに書き取りしましょう。単語を覚えるときも同様で、音読、書き取りが大事です。声を出して読み、何度でも書くことでフランス語の基礎力が身につきます。

ある程度基本的な単語と文法事項を覚えたら、問題集で繰り返し練習問題を解答してください。検定に必要なフランス語力がついてきます。

## 本学での対応科目・講座

自主ゼミ(Jゼミ)の「フランス語入門」

## 全体の合格率・合格者数

合格基準点 3級、4級、5級は100点満点中60点

合格率（2019年度）					
3級		4級		5級	
春	秋	春	秋	春	秋
51.0%	56.1%	81.4%	74.9%	83.7%	88.7%

# 韓国語能力試験【TOPIK】（2級以上）

主催団体：大韓民国教育省・国立国際教育院（NIIED）

**試験日** 1回目:2021年 4月11日(日)  
 2回目:2021年 7月11日(日)  
 3回目:2021年10月17日(日) } 年3回実施

**申込** 1回目:1月8日(金)~1月22日(金)15時  
 2回目:未定  
 3回目:未定  
 ※未定の箇所については、発表され次第お知らせします。

**受験料** TOPIK I (1級、2級): 4,000円 TOPIK II (3級~6級): 5,500円  
 TOPIK I + II :9,500円(両方合格:TOPIK II 分のみ支援、I のみ合格:TOPIK I 分のみ支援)

**Webサイト** <https://www.kref.or.jp/examination> (日本)  
<https://www.topik.go.kr/usr/cmm/index.do> (韓国)

**試験会場** 札幌会場あり

## 内 容

韓国語能力試験は、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語(ハングル)試験です。

	TOPIK I (初級)[1級,2級]	TOPIK II (中・上級)[3級~6級]
評価領域	・聞き取り:30問 ・読 解:40問	・聞き取り:50問 ・読 解:50問 ・書き取り: 4問 (作文含む)
試験時間	10時00分~11時40分 (110分) ※休憩なし	13時00分~16時30分 (180分) ※1時間目後、30分休憩

**レ ベ ル** 試験は初級であるTOPIK I (1・2級)と、中・上級であるTOPIK II (3~6級)の2種類があり、得点によって合格級または不合格の判定がされる。

2級: ・ 電話や頼み事など、日常生活に必要な会話や、郵便局、銀行などの公共施設における会話ができる。  
 ・ 約1,500~2,000語程度の語彙を用いた文章を理解し、使用することができる。

3級: ・ 日常生活を問題なく過ごすことができ、さまざまな公共施設の利用や社会的な関係を維持するための表現を理解し、使用することができる。  
 ・ 書きことばと話しことばの基本的な特性を区分して理解し、使用することができる。

※ 他の級のレベルについては、Webサイトを参照してください。

## 学習の心得

TOPIKのホームページ(韓国)にて過去問題と解答が入手できますので、そちらを利用することをおすすめします。とにかく続けることが大切です。

## 本学での対応科目・講座

自主ゼミ(Jゼミ)の「韓国語レッスン」

## 全体の合格率・合格者数

### 国内外(87か国)の総合格者数

実施年	実施回	受験者数	合格者数	合格率
2019年	第62回	25,888	17,556	67.8%
	第63回	86,100	59,676	69.3%
	第64回	30,947	21,084	68.1%
	第65回	36,982	25,878	70.0%
	第66回	81,415	56,711	69.7%
	第67回	38,736	27,568	71.2%

※ 級ごとの合格者数は公表されていません。

# ロシア語能力検定試験（3級・4級）

主催団体：ロシア語検定委員会

- 試験実施時期** 年2回(5月・10月)実施(5月の試験は3, 4級のみ、10月は全ての級を実施)
- 申込** 下記Webサイトで確認してください。
- 受験料** 4級 5,000円 3級 6,000円
- Webサイト** <http://www.tokyorus.ac.jp/kentei/index.html>(東京ロシア語学院ホームページ)
- 試験会場** 上記Webサイトで確認してください。

## 内容

総合的なロシア語力を認定するため、当初から「読解力」だけでなく、「聴取力」や「会話力」を確かめる問題を取り入れています。それぞれの科目で6割以上の点数を取らなければ合格にはなりません。たとえ合計点で6割以上を取ったとしても、6割に達していない科目が一つでもあれば不合格となります。

- レベル** 4級から1級まで難易度別に4段階の検定試験があります。  
4級のレベルは下記の通りです。  
(聴取と会話の試験はありません。辞書の使用は認めません。)

- 文法**：文字と発音、格変化、動詞の時制、簡単な複文など(配点100点)  
**露文和訳**：日常的な内容の文章を日本語にする(50点)  
**和文露訳**：やさしい日常表現をロシア語にする(50点)  
**朗読**：力点のあるロシア語テキストを会場でテープに録音(50点)

- 学習の心得** 過去問については、東京ロシア語学院(〒156-0052東京都世田谷区経堂1-11-2)に請求すれば購入できるほか、市販対策問題集として、『ロシア語能力検定試験合格への手引き3級・4級対策問題集』(北岡千夏・三浦由香利・横井幸子著、南雲堂フェニックス、2005年)があります。

## 全体の合格率・合格者数

	級	合格率	合格者数	受験者数
R2年度 第2回	3級	65.0%	208人	320人
	4級	79.5%	300人	377人
R1年度 第2回	3級	43.5%	63人	145人
	4級	70.5%	43人	61人
R1年度 第1回	3級	46.4%	115人	248人
	4級	66.9%	184人	275人

※令和2年度第1回の本試験については中止となりました。

**試験実施時期** 試験日：毎年夏(6月)と秋(11月)

**申込** 6月受験は3月～試験の一月前、11月受験は8月～試験の一月前。インターネット、書店の店頭、郵送などで申込み。

**受験料** 1級 6,300円 2級 5,300円

**Webサイト** <https://www.nihongokentei.jp/>

**試験会場** 札幌市内を含め、各都道府県の大きな都市で実施。受験料を払って申込みの後、受験票の郵送の際に受験会場が通知される。

## 内 容

日本語の知識と総合的な運用能力を検定。敬語、文法、語彙、言葉の意味、表記、漢字の六つの領域が対象。受験時間は60分です。主な受験対象は、日本語を母国語とする日本人。受験者数は年間およそ10万人。

**レ ベ ル** 1級～7級に分かれるが、北海道情報大学の学習支援センターで資格取得の対象とするのは、2級(社会人・大学生レベル)、1級(社会人レベル)です。

**学習の心得** 東京書籍から、1・2級受験用に、日本語検定の公式テキスト「日本語」上級が発売されています。また同様に「日本語検定公式練習問題集1級」と「同2級」が発売されています。これらを使って勉強するのが良いでしょう。

## 本学での対応科目・講座

本学での科目としては、「日本語表現Ⅰ」が対応しています。受験のためには、検定委員会が監修した公式テキスト等を用いた勉強が効果的です。

## 全体の合格率・合格者数

1・2級とも80%以上の得点率で合格。得点率が70～80%の場合は準認定となる(準1級、準2級)。最近2年間の1・2級の受験者数と合格率は以下の通りです。

試 験	受験者総数		合 格 率			
	2 級	1 級	準2級	2 級	準1級	1 級
令和2年度(第2回)	3,003名	733名	23.3%	12.7%	37.2%	22.3%
令和2年度(第1回)	中止					
令和元年度(第2回)	3,599名	618名	23.4%	7.9%	26.3%	7.2%
令和元年度(第1回)	2,841名	596名	23.9%	9.3%	33.7%	14.1%
平成30年度(第2回)	3,988名	631名	26.5%	8.4%	30.5%	10.1%
平成30年度(第1回)	2,881名	594名	35.7%	11.0%	21.9%	4.9%
平成29年度(第2回)	3,897名	727名	9.9%	8.8%	24.5%	19.1%
平成29年度(第1回)	3,257名	682名	25.1%	16.2%	18.4%	9.2%

Webサイト	<a href="http://www.jmmpa.jp/">http://www.jmmpa.jp/</a> (日本医療経営実践協会ホームページ)
内 容	試験の紹介等： Webサイトで確認してください。
レ ベ ル	3級、2級、1級の3段階 学生レベルは3級であるが、医療機関の経営部門・事務部門への就職を予定している人は3級合格後に2級を受験することが望ましい
試験会場	札幌会場あり
受験料	3級 9,100円(税込) (※2級(3級資格取得が前提)は 16,000円(税込))
受験資格	なし
出題形式・出題数	五肢択一マークシート式 50問(80分)
実施日	3級は年3回程度実施
合格率	約40% ※合格後3年ごとの更新手続きが必要(更新手数料10,300円)

### 本学での3級への対応科目・講座

医療制度論、病院管理論、医療倫理概説、医療経営概論、医学入門



主催団体：日本バイオインフォマティクス学会

- Webサイト** <http://www.jsbi.org/nintei>
- 内 容** 試験の紹介等：Webサイトで確認してください。
- 試験会場** 札幌会場は隔年(偶数年度)開催予定です。Webサイトで確認してください。
- 受験料** 5,500円(税込)
- 受験資格** なし
- 実施日** 2020年度よりCBT方式に移行。Webサイトで確認してください。

**本学での対応科目・講座**

生物学、分子生物学、生化学、バイオインフォマティクス概論・演習、バイオテクノロジー実習、確率・統計 I・II、コンピュータシステム I・II、Javaプログラミング基礎演習 I・II

# 日本漢字能力検定(1級・準1級・2級・準2級)

主催団体：財団法人 日本漢字能力検定協会

試験実施時期 年3回実施

申込	第1回検定	第2回検定	第3回検定
実施日	2021年6月20日(日)	2021年10月17日(日)	2022年2月13日(日)
書店受付期間	未定		
願書協会必着	未定		

※未定の箇所については発表され次第、更新します。

受験料 1級 5,000円(税込) 準1級 4,500円(税込) 2級 3,500円(税込) 準2、3、4級 2,500円(税込)

Webサイト <http://www.kanken.or.jp/index.php>

試験会場 北海道地区(札幌、旭川、函館、北見、釧路、帯広、小樽、千歳、苫小牧)

## 内容

1級  
大学・  
一般程度

領域・内容

〈読むことと書くこと〉

常用漢字の音・訓を含めて、約6000字 ※の漢字の読み書きに慣れ、文章の中で適切に使える。

- 熟字訓、当て字を理解していること
- 対義語、類義語、同音・同訓異字などを理解していること
- 国字を理解していること(泳える、峯る など)
- 地名・国名などの漢字表記(当て字の一種)を知っていること
- 複数の漢字表記について理解していること(鹽一塩、颱風一台風 など)

〈四字熟語・故事・諺〉

典拠のある四字熟語、故事成語・諺を正しく理解している。

〈古典的文章〉

古典的文章の中で漢字・漢語を理解している。

※約6000字の漢字は、JIS第一・第二水準を目安とする。

準1級  
大学・  
一般程度

領域・内容

〈読むことと書くこと〉

常用漢字の音・訓を含めて、約3000字 ※の漢字の読み書きに慣れ、文章の中で適切に使える。

- 熟字訓、当て字を理解していること
- 対義語、類義語、同音・同訓異字などを理解していること
- 国字を理解していること(峠、凧、畠 など)
- 複数の漢字表記について理解していること(國一國、交叉一交差 など)

〈四字熟語・故事・諺〉

典拠のある四字熟語、故事成語・諺を正しく理解している。

〈古典的文章〉

古典的文章の中で漢字・漢語を理解している。

※約3000字の漢字は、JIS第一水準を目安とする。

2級  
高校卒業・大学  
一般程度

領域・内容

〈読むことと書くこと〉

すべての常用漢字※の読み書きに習熟し、文章の中で適切に使える。

- 音読みと訓読みとを正しく理解していること
- 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること
- 熟語の構成を正しく理解していること
- 熟字訓、当て字を理解していること(海女/あま、玄人/くろうとなど)
- 対義語、類義語、同音・同訓異字などを正しく理解していること

〈四字熟語〉

典拠のある四字熟語を理解している(鶏口牛後、呉越同舟 など)。

〈部首〉

部首を識別し、漢字の構成と意味を理解している。

※常用漢字とは、平成22年11月30日付内閣告示による「常用漢字表」に示された2136字をいう。

## 準2級

高校在学程度

### 領域・内容

#### 〈読むことと書くこと〉

1951字\*の漢字の読み書きを習得し、文章の中で適切に使える。

- 音読みと訓読みとを正しく理解していること
- 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること
- 熟語の構成を正しく理解していること
- 熟字訓、当て字を理解していること(硫黄/いおう、相撲/すもう など)
- 対義語、類義語、同音・同訓異字を正しく理解していること

#### 〈四字熟語〉

典拠のある四字熟語を理解している(驚天動地、孤立無援 など)。

#### 〈部首〉

部首を識別し、漢字の構成と意味を理解している。

※1951字とは、昭和56年10月1日付内閣告示による旧「常用漢字表」の1945字から「勺」「鍾」「銃」「脹」「刃」の5文字を除いたものに、現行の「常用漢字表」のうち、「茨」「媛」「岡」「熊」「埼」「鹿」「栃」「奈」「梨」「阪」「阜」の11字を加えたものを指す。

## レベル

### 1級

常用漢字を含めて、約6000字\*の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使える。

### 準1級

常用漢字を含めて、約3000字\*の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使える。

### 2級

すべての常用漢字\*を理解し、文章の中で適切に使える。

### 準2級

常用漢字のうち1951字\*を理解し、文章の中で適切に使える。

## 学習の心得

日常生活の中で、できるだけ活字に触れる機会(時間)を多く持つよう心がけるとよいでしょう。読書は勿論のこと、毎日欠かさず新聞を読むなど、そうした習慣を身につけることで知らず知らずのうちに読み書きの力を高めることができます。漢字の読み書きのほか、四字熟語・故事成語・ことわざなどについては、漢字検定のための対策本(過去問題集)などを集中して学習するのも良いでしょう。

最近、パソコンや携帯電話の普及にともない手書きする機会も減ってきているので、できるだけ文字や文章を手書きするよう心がけましょう。また、辞典(国語辞典・漢和辞典、英和辞典など)をこまめに引き(電子辞書でも良い)、言葉の意味を正しく把握し、正しい表記や適切な表現を用いるよう心がけることも大切です。

## 本学での対応科目・講座

検定対策の科目は特に設けてはいませんが、「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」で日本語の表記や表現について学ぶことができます。

## 全体の合格率・合格者数

	2020 第2回					2020 第1回			
	級	合格率	合格者数	受験者数		級	合格率	合格者数	受験者数
	1級	10.9%	86人	791人		1級	0%	0人	0人
	準1級	19.6%	943人	4,807人		準1級	0%	0人	0人
	2級	27.3%	12,415人	45,528人		2級	25.6%	4,348人	16,954人
	準2級	38.9%	36,854人	94,795人		準2級	40.1%	13,855人	34,572人

